アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社
〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13
お客様サポートセンター　TEL 0120-415-814
携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155

〈お願い〉
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合もありますので、あしからずご了承ください。

191-8N43-01

Aprica その笑顔には、理由がある。

ベビー＆チャイルドシート・ベッド

Fladea（フラディア） ／ Deaturn（ディアターン）

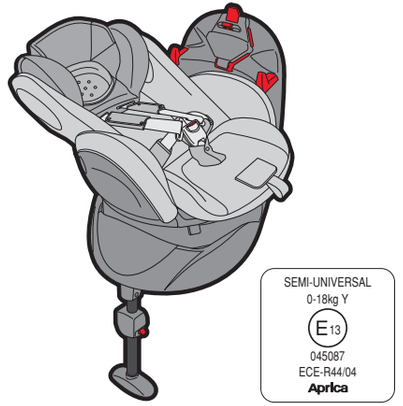
（フラディアシリーズ）

取扱説明書／保証書

体重2.5kgから18kgまでのお子さま用です。
本装置は、ECE規則No.16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式／リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後は、本書を大切に保管してください。
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。
製品の機能が充分発揮されないだけでなく危険です。
本誌のイラストは説明の便宜上、一部仕様が異なる場合があります。

ECE-R44／04（ヨーロッパ統一規則）適合
準汎用型グループ0、グループⅠ、 2.5kgから18kgまで。



ヨーロッパの安全基準合格

ご使用前に
〈P2〉
取り付ける前に
〈P20〉
車への取り付け
〈P49〉
お手入れ
〈P76〉

191-8N43-01

もくじ

ご使用前に

チャイルドシートについて …… 2
保護者の方へのアドバイス …… 2
本書の表示について …… 2
取り付ける手順 …… 3
各部のなまえ …… 5
お子さまの条件 …… 9
座席の条件 …… 11
シートベルトの条件 …… 13
ご使用上の注意 …… 15
日常の点検 …… 19

取り付ける前に

レッグサポートの使いかた …… 20
回転／リクライニングの操作方法 …… 21
回転のしかた …… 23
リクライニングのしかた …… 25
横向きベッドから後向きにするとき …… 27
横向きベッドから前向きにするとき …… 28
後向きから前向きにするとき …… 29
前向きから後向きにするとき …… 30
肩ハーネス／らくすやマクラ/アジャスト成長マモールの高さ調節のしかた … 31
パッド／フレックスシェードの使いかた …… 39

車への取り付け

取り付け準備 …… 49

車への取り付け

取り付けかた …… 51
取り付け後の確認 …… 58

横向きベッド・後向き・前向き

横向きベッド／横向きベッドにする …… 59
横向きベッド／お子さまの乗せかた …… 60
横向きベッド使用時の確認 …… 63
後向き／お子さまの乗せかた …… 64
後向き使用時の確認 …… 69
前向き／前向きにする …… 70
前向き／お子さまの乗せかた …… 71
前向き使用時の確認 …… 74
車からの取り外しかた …… 75

お手入れ

シートカバーの外しかた …… 76
シートカバーの取り付けかた …… 78
お手入れ／保管／廃棄のしかた …… 79
製品仕様 …… 79
取り付け可能車種一覧表 …… 80
困ったときには …… 81
保証について …… 83
アフターサービスについての連絡先 …… 84
MEMO …… 85
保証書 …… 86

ご使用前に

チャイルドシートについて

・チャイルドシートはシートベルトで自動車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
・日本国内及び、ECE規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。
・取扱説明書に説明されている方法以外で使用しないでください。衝突などの際に充分な性能を発揮することが出来ないおそれがあります。

〈中古品のご使用について〉

・前の使用者の使用履歴が分からない場合や、使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
・クラック（ひび割れ）や大きなキズ、留め金部の緩みなどがある場合は、ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

保護者の方へのアドバイス

・お子さまをはじめて車に乗せる時から、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
・長距離を走る場合は、1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。また、発達段階にあった姿勢をとってあげることも大切です。
・授乳後30分位は吐き戻しやすいのでご注意ください。

本書の表示について

・「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠危険	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
⚠警告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

製品の取扱いにおける禁止行為です。

アドバイス 製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

取り付ける手順

・必ずお読みください。

ご使用前に
P2～P10

車の座席、シートベルトを確認
P11～P14

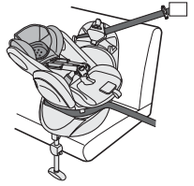
ご使用上の注意
P15～P18

お子さまの体重 2.5kgから 9kg未満

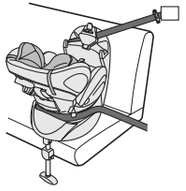
お子さまの体重 首すわりから 10kg未満

お子さまの体重 9kgから 18kgまで

横向きベッド



後向き



前向き

取り付ける前に
P20～P48

・肩ハーネスの高さ調節
・パッド類の取り付け、取り外し
・フレックスシェードの取り付け、取り外し

車への取り付け
P49～P58

・車への取り付け
・レッグサポートの調節
・取り付け後の確認

横向きベッド
P59～P63

・横向きベッドにする
・お子さまを乗せる
・横向きベッド使用時の確認

後向き
P64～P69

・お子さまを乗せる
・後向きにする
・後向き使用時の確認

前向き
P70～P74

・前向きにする
・お子さまを乗せる
・前向き使用時の確認

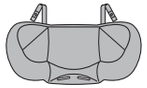
日常の点検
P19

各部のなまえ

梱包内容　・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

〈パッド／フレックスシェード〉（P39～P40参照）・箱から取り出した状態では、本体にセットされています。

〈フラディア エス〉


らくすやマクラ／アジャスト成長マモール

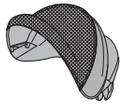
肩パッド

頭マモールパッド

腰パッド

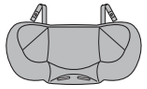
プロテクトゲル

快適フィットマット


フレックスシェード

・プロテクトゲルは縫製品でカバーされています。

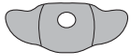
〈フラディア シリーズ〉

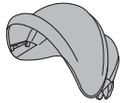

らくすやマクラ／アジャスト成長マモール

肩パッド

頭マモールパッド

腰パッド


ヒップインナーシート


フレックスシェード
（一部グレードのみ）

〈ディアターン〉

アジャスト成長マモール

肩パッド

頭マモールパッド

腰パッド

〈付属品〉

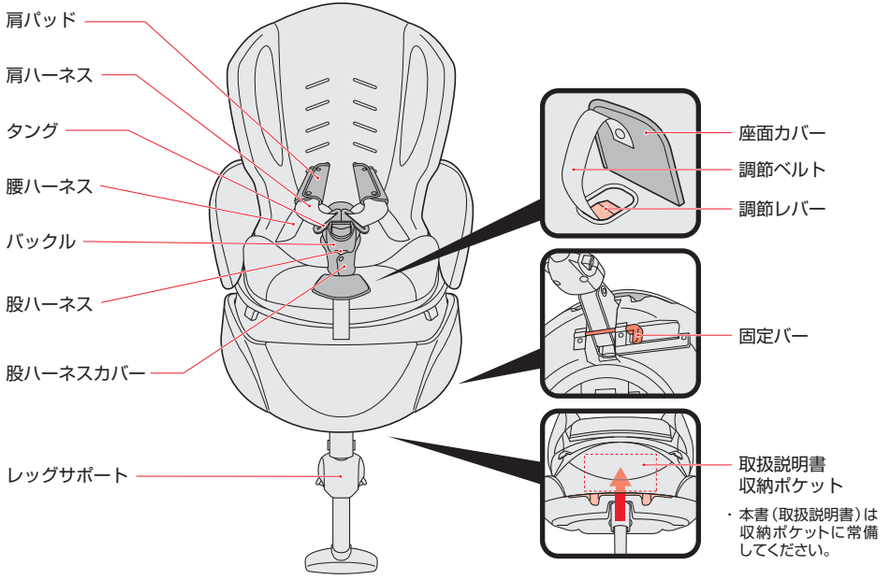
ベルトクリップ

フィットスペーサー

取扱説明DVD

お客様登録カード※

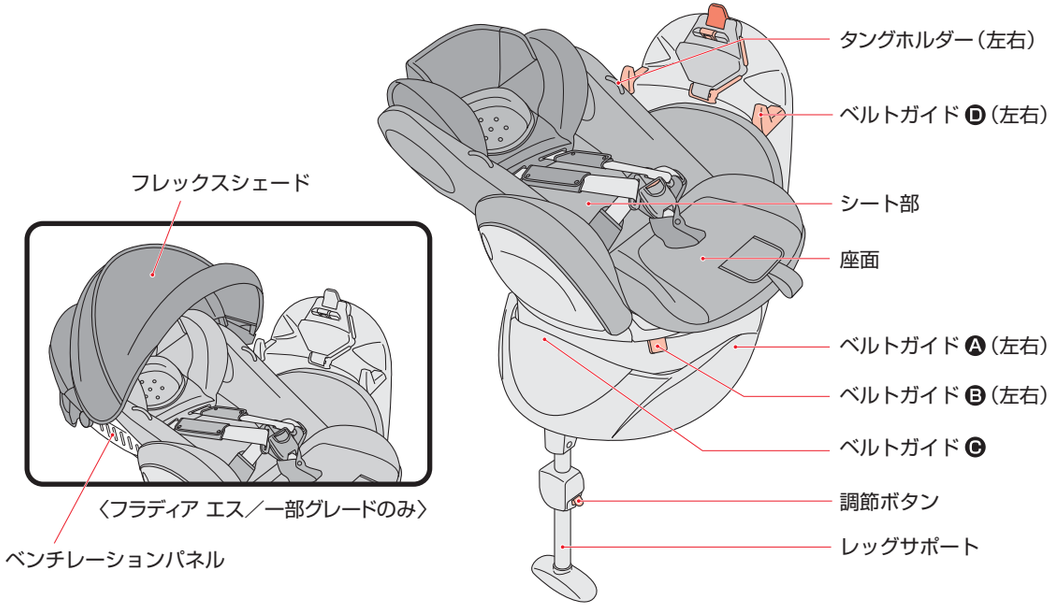
取扱説明書（本書）

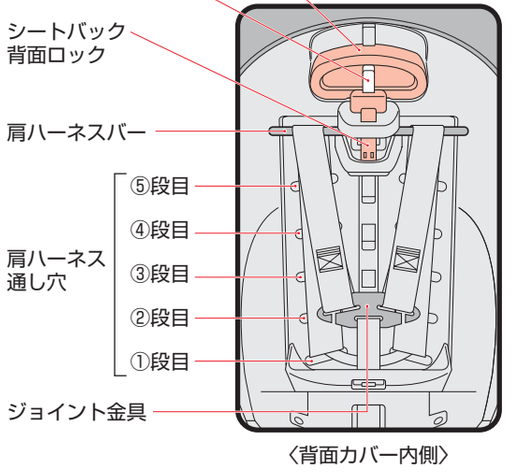


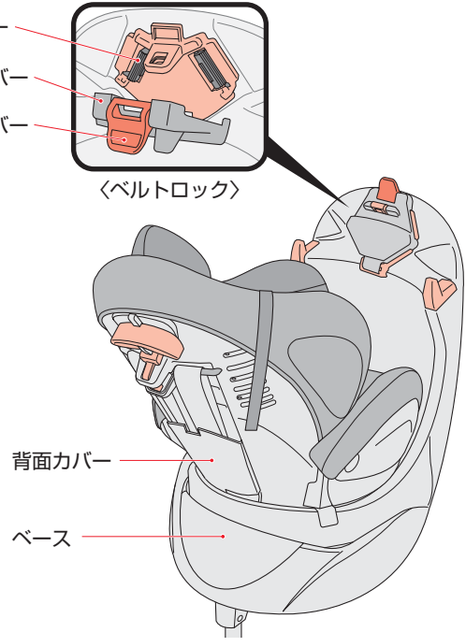
・本書（取扱説明書）は収納ポケットに常備してください。

〈重 要〉※お客様登録カードは、弊社よりリコールや自主回収などチャイルドシートに係わる重要な情報をお知らせするためのご連絡先の登録に必要となります。お買い上げ日より1カ月以内に同封の「お客様登録カード」をご返送いただくか、弊社ホームページ（http://www.Aprica.jp/）からご登録をお願いいたします。

各部のなまえ


フレックスシェード
〈フラディア エス／一部グレードのみ〉
ベンチレーションパネル
タングホルダー（左右）
ベルトガイド Ⓓ（左右）
シート部
座面
ベルトガイド Ⓐ（左右）
ベルトガイド Ⓑ（左右）
ベルトガイド Ⓒ
調節ボタン
レッグサポート


回転・リクライニングレバー（赤色）
回転ロックボタン（白色）
シートバック
背面ロック
肩ハーネスバー
肩ハーネス
通し穴
⑤段目
④段目
③段目
②段目
①段目
ジョイント金具
〈背面カバー内側〉


ベルトストッパー
ベルトロックカバー
ベルトロックレバー
〈ベルトロック〉
背面カバー
ベース

お子さまの条件

・下記の条件を満たさないお子さまには絶対使用しないでください。
・参考年齢と参考身長は目安です。お子さまの体重に合わせてご使用ください。

⚠危険
・体重の条件を満たしていないお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

お子さまの体重にあわせて、3通りの使いかたがあります。

体重2.5kgから9kg未満

参考年齢：新生児から1歳頃まで
参考身長：50～70cm

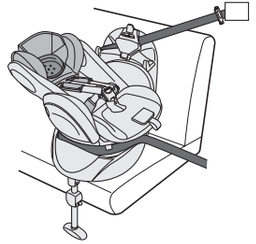
・お子さまの足が座面からはみ出さないこと。

〈肩ハーネス通し穴位置〉
・お子さまの成長にあわせて
下から1、2、3段目を使用。
（P31参照）

〈パッド類〉
・らくすやマクラ/アジャスト成長マモール必要
・腰パッド必要
・頭マモールパッド取り外し可

・リクライニング3段目〈横向きベッド専用〉

〈横向きベッド〉



⚠警告
・お子さまの足が座面から出る場合は横向きベッドで使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

首すわりから10kg未満

参考年齢：首すわりから1歳頃まで
参考身長：60～80cm

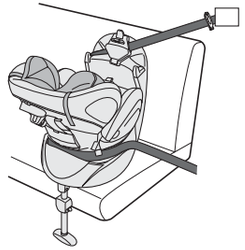
・首がすわっていること。

〈肩ハーネス通し穴位置〉
・お子さまの成長にあわせて
下から2、3、4段目を使用。
（P31～32参照）

〈パッド類〉
・らくすやマクラ/アジャスト成長マモール取り外し可（窮屈になったら取り外しても使用できますが、ご使用することをお勧めします。）
・腰パッド取り外し可

・リクライニング2段目〈後向き専用〉

〈後向き〉



体重9kgから18kgまで

参考年齢：1歳頃から4歳頃まで
参考身長：70～100cm

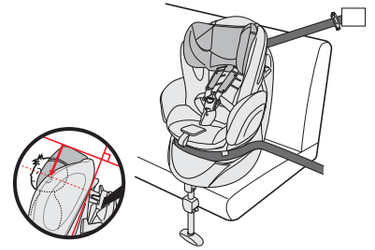
・体重が9kg未満のお子さまは前向きでは使用できません。

〈肩ハーネス通し穴位置〉
・お子さまの成長にあわせて
下から3、4、5段目を使用。
（P32参照）

〈パッド類〉
・らくすやマクラ/アジャスト成長マモール取り外し可（窮屈になったら取り外しても使用できますが、ご使用することをお勧めします。）
・腰パッド取り外し可

・リクライニング1段目〈前向き専用〉

〈前向き〉



・背面ロックがかかっていること。
・お子さまを座らせた時、耳の上端部が本体の上端部より下になること。

座席の条件

〈お奨めする取り付け座席の位置〉

・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをお奨めいたします。ただし、フロントエアバッグが装備された助手席には取り付けできません。

〈サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉

・サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できます。
・車の取扱説明書にチャイルドシートの使用に関する記載がある場合は指示に従ってください。

〈取り付けできない座席〉・座席の位置及び装備

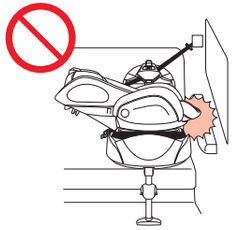
・車のヘッドレストが外せず、ヘッドレストとチャイルドシートのベルトロックレバーに干渉する座席。

・進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。

・フロントエアバッグが装備された助手席。

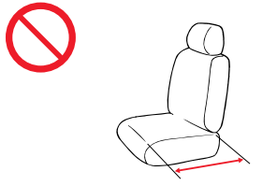
・ピラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。

・座面が車のドアトリムなどに干渉し、ドアを閉めることができない座席。



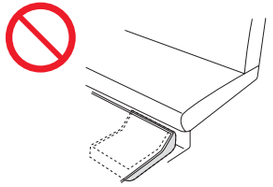
〈取り付けできない座席〉・座席の形状

・極端に奥行きが短い座席。（補助席や幼児専用座席）
・極端に奥行きが長い座席。（ベースが車の背もたれに全く接しない座席）

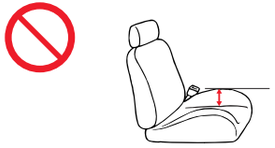


・レッグサポートが車の床に全く接しない座席。
・レッグサポートを一番短くしても座面に25mm以上隙間ができる座席。

・車のフロアに、ヒューズボックス、収納型シート、コンソールボックス、スペアタイヤの収納スペースなどがある座席。



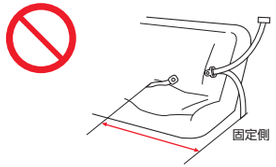
・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。
（極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車両など）



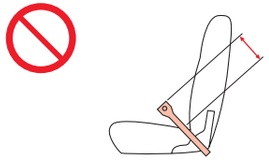
シートベルトの条件

〈取り付けできない座席〉

・シートベルトの取り付け幅が極端に小さくベースでバックルを踏みつける座席。



・バックル側のベルトが固い樹脂製などでかつ極端にバックルが長い座席。（一部のRV車）



・バックル及び腰シートベルトが極端に高い位置から出て、しっかり取り付けができない座席。

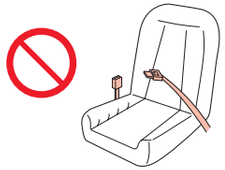
〈シートベルトの条件〉

・本装置は、ECE規則No.16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

シートベルトの種類		特　徴	取り付け上の注意点
3点式シートベルト	ELR付シートベルト（緊急ロック式巻取装置付）	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。
	ALR／ELR付シートベルト（チャイルドロック機構付）	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。	シートベルトを全てもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。
	その他	上記に当てはまらないシートベルト。	本製品は、ご使用できません。

〈以下のシートベルトでは使用しないでください〉

・2点式シートベルトの座席。



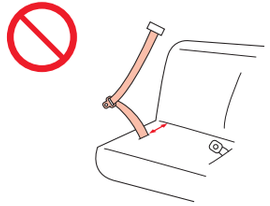
・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。

・パッシブシートベルトの座席。（座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席）

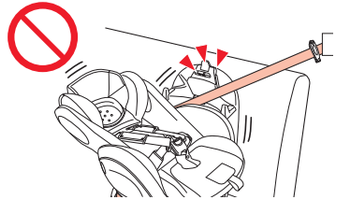
・市販のスポーツタイプのシートベルトが装備されている座席。

〈以下の3点式シートベルトでは使用しないでください〉

・バックル及び腰シートベルトが極端に前方から出て、リクライニング機構もなく、しっかり取り付けできない座席。



・シートベルトの長さが極端に短く、本体が固定できない座席。



ご使用上の注意

⚠危険　誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・体重2.5kg未満及び18kgを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・いかなる場合にも、フロントエアバッグ装備車の助手席には本製品を取り付けない。
エアバッグの作動により、お子さまに強い力が加わり危険です。

・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

・補助座席、幼児専用座席には使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

・チャイルドシートの固定が不完全でシートベルトに“ゆるみ”がある場合は使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

・前向き使用時、背面ロックが掛かっていない状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

⚠危険　誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・レッグサポートを収納した状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

・レッグサポートが車のフロアから離れていないこと。及び物を挟んで使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

・ベッド以外で横向きに使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

・チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しない。
衝突の際に充分性能が発揮できません。

・チャイルドシートを本書及び、本体表示ラベルの説明以外の方法で取り付けない。

ご使用上の注意

⚠警告　誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

・お子さまを一人で車内に残さない。
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。
・腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
・同時に二人以上で使用しない。
・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。（例：片側スライドドアのドア側座席など）
・チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。
・肩ハーネスや股ハーネスに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
・肩ハーネスは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
・車の走行中にベルト調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。
・チャイルドシートを使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
・車のヘッドレストがチャイルドシートのベルトロックレバーに干渉した状態で取り付けない。
ベルトロックが解除されるおそれがあり、衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・お子さまを拘束したままリクライニング操作をしない。
・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。
・本製品を横向きベッドで使用する時は、車の進行方向に対して直角に使用すること。
・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・レッグサポートに水やジュース、泥水、ゴミなどが入り高さ調節ができない場合は使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
・本製品を分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
・シートカバーやクッション材を外したり、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
・梱包袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。
・パッド類を含む本製品の部品が破損した状態で使用しない。
・シートベルトで固定していないチャイルドシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
・取り外したパッド類、フレックスシェードはトランクルームやカーゴルームに保管し、車内に保管しない。

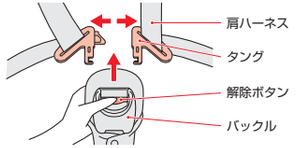
・本製品の取り付けや取り扱いに関する不明点がありましたら、弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。（P84参照）

⚠注意　誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

・チャイルドシートを直射日光にさらさない。
本体や金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。
・可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの剛性部分やプラスチック部分を挟まない。
・チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
・車の座席が革仕様の場合には、直接取り付けない。（別売の保護マットを使用する。）
・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
・シートベルトで固定せずに、通常の椅子として使用しない。
・お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタングはバックルから外しておかない。
・お子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
・チャイルドシートに重量物を載せない。
・砂やほこりの多い場所で使用するとベースなど可動部分に詰まり故障の原因になります。
・本体やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
・本体に貼り付けられたシールは、はがさない。
・屋外に放置し、雨などにさらさない。

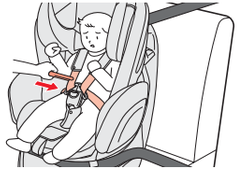
緊急時のお子さまの降ろしかた

緊急の時はあわてずに…
①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②肩ハーネスをお子さまから外す。
③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
④安全な場所へ避難する。



バックルからタングが抜けない時は…

●チャイルドシートの肩ハーネスをシートベルトカッター（市販品）などで切り、お子さまを降ろす。

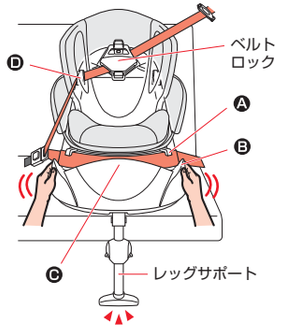


日常の点検

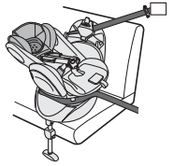
・お子さまを乗せる前にチャイルドシートが確実に取り付けられているか確認してください。

確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、チャイルドシートが正しく機能せず、大変危険です。
最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。

・チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前に各項目を点検してください。

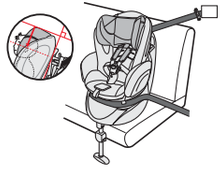


〈取り付け後の確認〉（P58参照）
- 車のシートベルトがベルトガイドⒶ・Ⓑ・Ⓒ・Ⓓ を通り、ベルトロックで固定している。
- ベース部分を両手で持ち、前後左右に動かしてベース部分が約3cm以上ずれない。
- レッグサポートが車のフロアにしっかり接している。
- 車のシートベルトに緩み、たるみがない。（シワは問題ありません。）
- 車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれている。
- フィットスペーサーを使用している。



〈横向きベッド使用時〉（P63参照）
- 肩ハーネスが肩に近い位置の肩ハーネス通し穴を通っていること。
- 左右の肩パッドが引き出されていること。
- お子さまの足が座面の先端から出ていないこと。
- らくすやマクラ/アジャスト成長マモールが取り付けられ、ヘッドガードが起こされていること。
- らくすやマクラ/アジャスト成長マモール下部のふくらみをお子さまの首の後ろに合わせること。
- 腰パッドが取り付けられていること。
- 背面カバーにジョイント金具が引っかかっていないこと。

〈後向き使用時〉（P69参照）
- 肩ハーネスが肩に近い位置の肩ハーネス通し穴を通っていること。
- 左右の肩パッドが引き出されていること。
- お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。
- 背面カバーにジョイント金具が引っかかっていないこと。

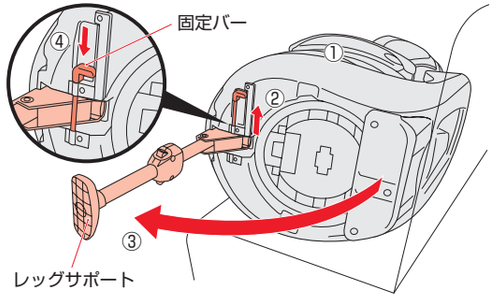


〈前向き使用時〉（P74参照）
- 肩ハーネスが肩よりすぐ上の肩ハーネス通し穴を通っていること。
- 左右の肩パッドが引き出されていること。
- お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。
- ロックピンが入っていることを目視で確認すること。
- 背面ロックがロックされていることを手で動かして確認すること。
- 背面カバーにジョイント金具が引っかかっていないこと。

レッグサポートの使いかた

1

①作業するスペースを充分に確保し、本体を横に寝かせる。
②ベース底面の固定バーを引き、ロックを解除する。
③レッグサポートを起こす。
④固定バーを差し込み、ロックする。

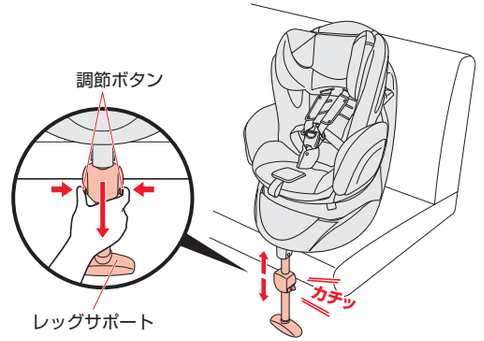


警告
- 手、指などを挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。
- 固定バーを必ずロックすること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

注意
- チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。

2

調節ボタンを押して長さを調節する。
- 出荷時は最も短い状態から4段目の長さになっています。
- レッグサポートを収納するときは4段目の長さに合わせてください。



- レッグサポートがしっかり固定され、調節ボタンが「カチッ」とロックされていることを確認する。

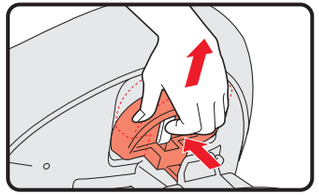
警告
- レッグサポートが車のフロアから離れていないこと。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

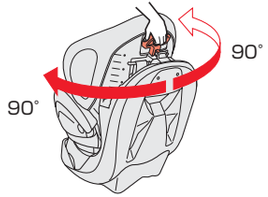
回転／リクライニングの操作方法

赤いレバーの使いかた

〈回転するとき〉

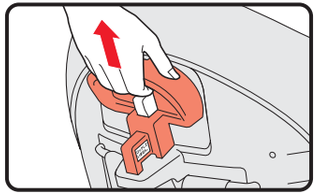
・回転ロックボタン（白色）を押しながら、赤いレバーを引き上げて回転することができます。

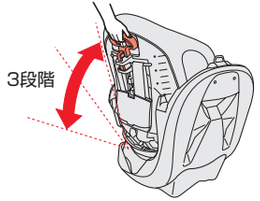




〈リクライニングするとき〉

・赤いレバーを引き上げて、背もたれを倒すことができます。（3段階）



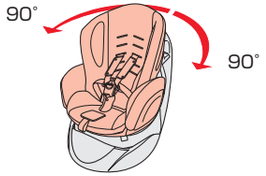


⚠注意

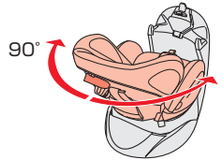
・赤いレバーと回転ロックボタン（白色）は握り続けていると正しくロックされない場合があります。

回転できる範囲

・リクライニングを1段目〈前向き専用〉にしないと前向きに回転できません。

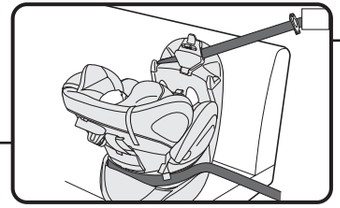


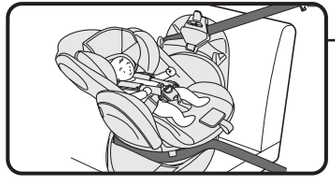
・リクライニングを2段目〈後向き専用〉にしないと後向きに回転できません。



アドバイス

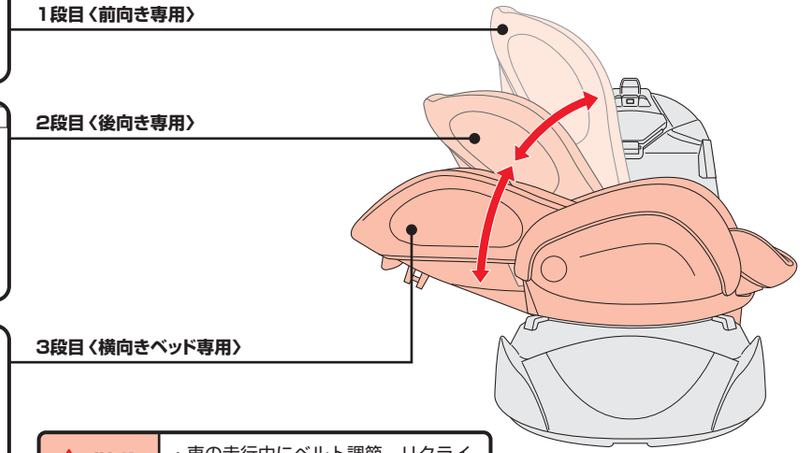
前向き、後向きにはそれぞれ回転できる範囲があり、360°は回りません。





リクライニングの角度〈3段階〉

・リクライニングは、1段目〈前向き専用〉ポジション、2段目〈後向き専用〉ポジション、3段目〈横向きベッド専用〉ポジションがあり、お子さまの体重にあわせて、3通りの使いかたがあります。（P9参照）

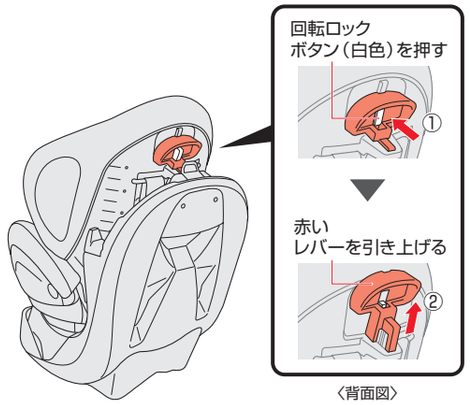


⚠警告

・車の走行中にベルト調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。

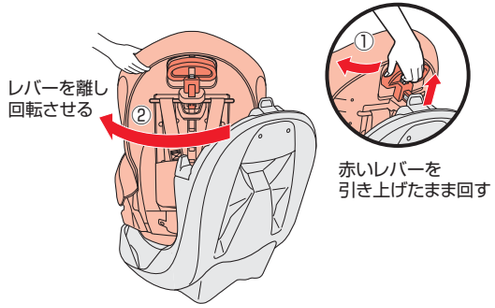
回転のしかた

1 ①回転ロックボタン（白色）を押す。
②ボタンを押したまま赤いレバーを引き上げる。



〈背面図〉

2 ①赤いレバーを引き上げたままシート部を回す。
②動き始めたらレバーから手を離して回転させる。



警告
・回転操作時は、お子さまの手や指などを近づけないこと。
手や指などが挟まれ、けがを負うおそれがあります。

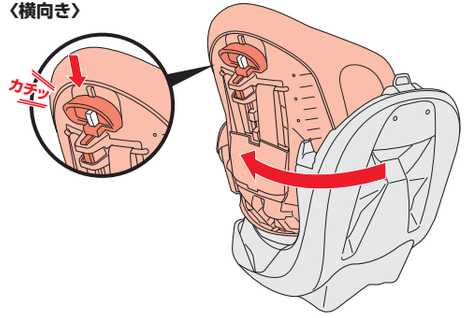
注意
・リクライニングが2段目（後向き専用）の時に前向きに回転させないでください。

3 横向きになると、赤いレバーと回転ロックボタン（白色）が戻り、シート部がロックされます。

・後向きにするときは、リクライニングを2段目〈後向き専用〉にしてから回転させてください。

アドバイス　レバーを離さないとロックされません。

〈横向き〉



危険
・ベッド以外で横向きに使用しない。

4 シート部を左右にゆすり、回転がロックされていることを確認する。

・確実にロックされていることを確認する。赤いレバーが戻らないとリクライニングの操作が行えません。

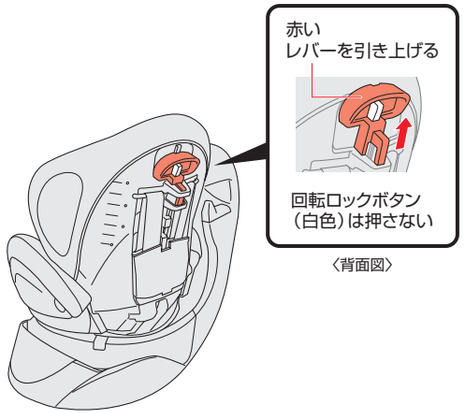
警告
・回転後、回転ロックボタン（白色）、赤いレバーが戻り、シート部が固定されていること。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・右図の「ロックしていません。」シールが見えている場合は赤いレバーが戻っていない状態です。シート部をゆすり、赤いレバーを戻し、ロックしてください。
・車の走行中にベルト調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。
・シート部を回転させるときに座っているお子さまの手、指、足などを挟まないようにしてください。
けがを負うおそれがあります。

注意
・長時間使用されない時や保管の時には、レバーが正しくロックされているか確認してください。
故障の原因になります。

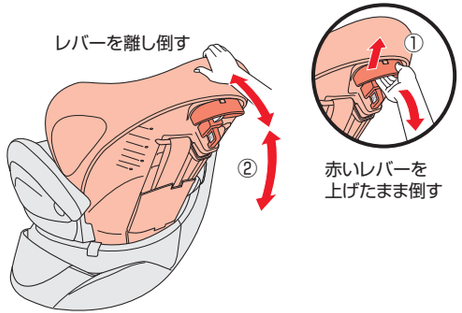
リクライニングのしかた（横向きベッド・後向き使用時のみ）

1 赤いレバーを引き上げる。

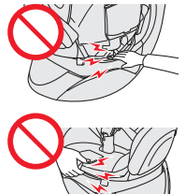


危険
・ベッド以外で横向きに使用しない。

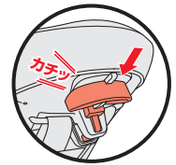
2 ①赤いレバーを引き上げたまま背もたれを倒す。
②動き始めたらレバーから手を離して倒す。



警告
・リクライニング操作時は、お子さまの手や指などを近づけないこと。手や指などが挟まれ、けがを負うおそれがあります。
・リクライニング操作時に座面の隙間に指を挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。

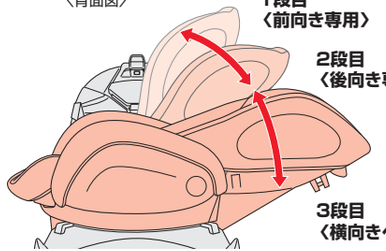


3 背もたれが2段（後向き）、3段（横向きベッド）になると、赤いレバーが戻りロックされます。



〈背面図〉

アドバイス レバーを離さないとロックされません。

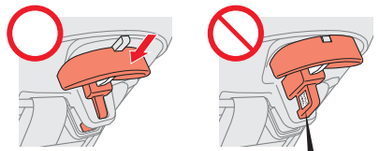


警告
・車の走行中にベルト調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。

4 シート部を上下にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

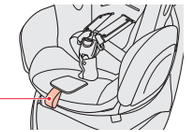
・確実にロックされていることを確認する。赤いレバーが戻らないと回転の操作が行えません。

警告
・操作後、赤いレバーが戻り、シート部が固定されていること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



・右図の「ロックしていません。」シールが見えている場合は赤いレバーが戻っていない状態です。シート部をゆすり、赤いレバーを戻し、ロックしてください。

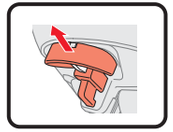
アドバイス リクライニングが起こしにくい場合は、調節ベルトをゆるめてください。（P33参照）

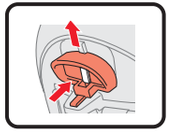


横向きベッドから後向きにするとき

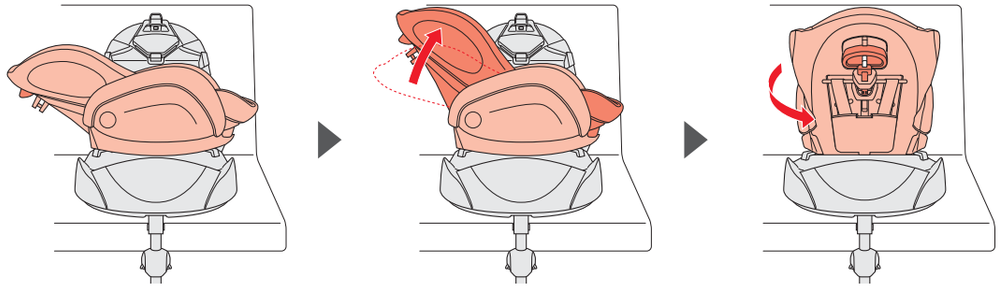
〈背もたれを起こす〉
①赤いレバーを引き上げ、背もたれを2段目〈後向き専用〉にする。
・赤いレバーが戻り、リクライニングがロックされていること。赤いレバーが戻っていないと回転操作が行えません。

〈シート部を後向きに回転させる〉
②回転ロックボタン（白色）を押したまま赤いレバーを引き上げ、シート部を後向きに回転させる。





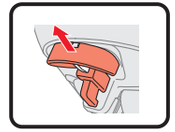
〈横向き〉　① 2段目〈後向き専用〉　② 〈後向き〉

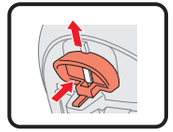


横向きベッドから前向きにするとき

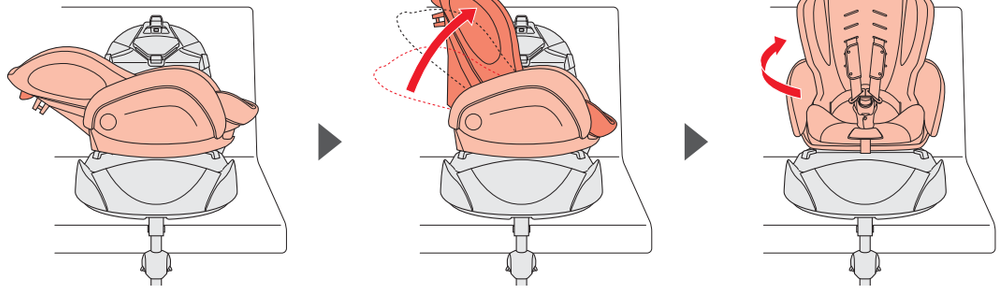
〈背もたれを起こす〉
①赤いレバーを引き上げ、背もたれを1段目〈前向き専用〉にする。
・赤いレバーが戻り、リクライニングがロックされていること。赤いレバーが戻っていないと回転操作が行えません。

〈シート部を前向きに回転させる〉
②回転ロックボタン（白色）を押したまま赤いレバーを引き上げ、シート部を前向きに回転させる。





〈横向き〉　① 1段目〈前向き専用〉　② 〈前向き〉

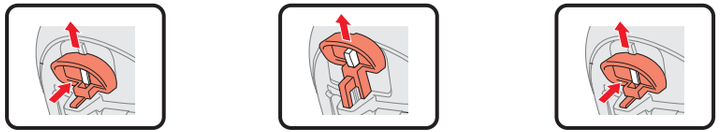


後向きから前向きにするとき

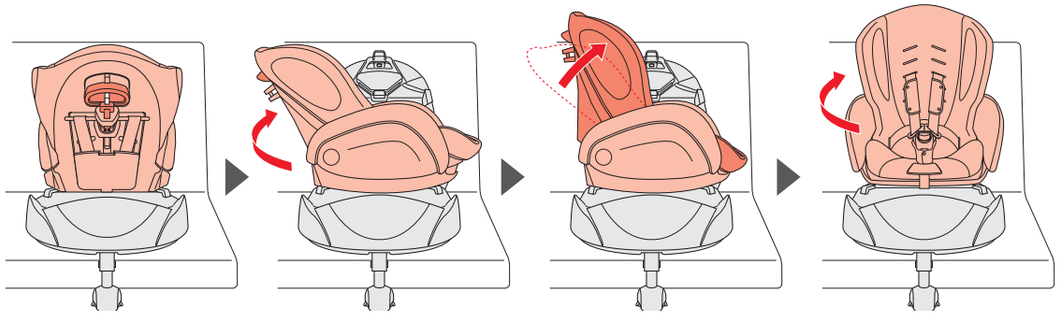
〈シート部を横向きに回転させる〉
①回転ロックボタン（白色）を押したまま赤いレバーを引き上げ、シート部を横向きに回転させる。

〈背もたれを起こす〉
②赤いレバーを引き上げ、背もたれを1段目〈前向き専用〉にする。
・赤いレバーが戻り、リクライニングがロックされていること。赤いレバーが戻っていないと回転操作が行えません。

〈前向きに回転させる〉
③回転ロックボタン（白色）を押したまま赤いレバーを引き上げ、シート部を前向きに回転させる。



〈後向き〉　① 横向きに回転　② 1段目〈前向き専用〉　③〈前向き〉

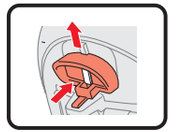


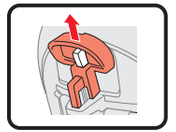
前向きから後向きにするとき

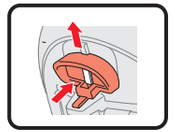
〈シート部を横向きに回転させる〉
①回転ロックボタン（白色）を押したまま赤いレバーを引き上げ、シート部を横向きに回転させる。

〈背もたれを倒す〉
②赤いレバーを引き上げ、背もたれを2段目〈後向き専用〉にする。
・赤いレバーが戻り、リクライニングがロックされていること。赤いレバーが戻っていないと回転操作が行えません。

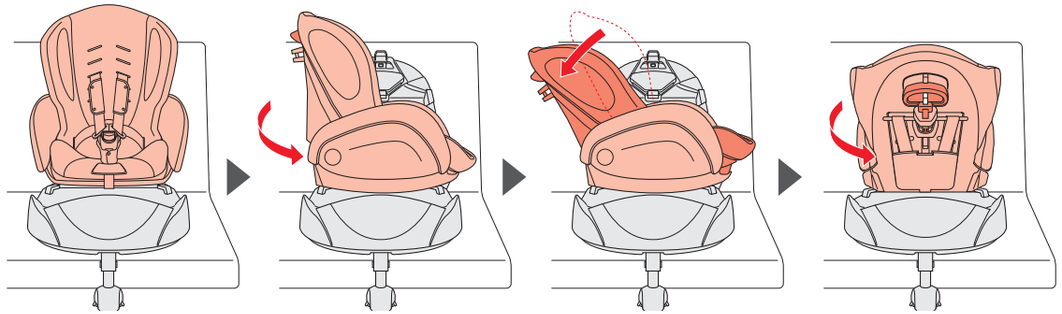
〈後向きに回転させる〉
③回転ロックボタン（白色）を押したまま赤いレバーを引き上げ、シート部を後向きに回転させる。







〈前向き〉　① 横向きに回転　② 2段目〈後向き専用〉　③〈後向き〉

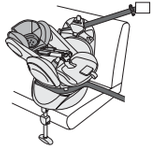


肩ハーネス／らくすやマクラ／アジャスト成長マモールの高さ調節のしかた

・各ポジションにより、使用する肩ハーネス通し穴の位置が異なります。
・お子さまの体格にあわせて、肩ハーネス通し穴の位置を調節してください。

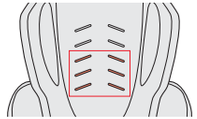
・お子さまをチャイルドシートに乗せて、正しい肩ハーネス通し穴の位置を調節してください。

横向きベッド使用時



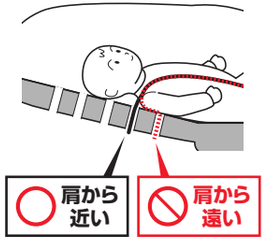
■肩ハーネス通し穴の位置

①下から
1～3段目を
使用する。



体　重	参考身長	肩ハーネスの位置（目安）
2.5kgから9kg未満	50cm位	下から1段目
	60cm位	下から2段目
	70cm位	下から3段目

②肩に近い位置の肩ハーネス通し穴を使用する。

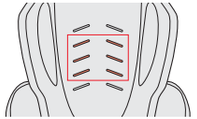


警告
・横向きベッド使用時の肩ハーネス通し穴位置は、下から1～3段目以外では使用しない。
・お子さまの肩から遠い肩ハーネス通し穴を使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

後向き使用時

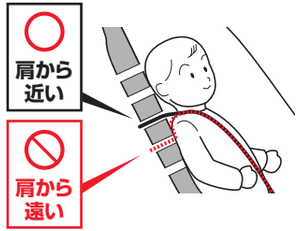
■肩ハーネス通し穴の位置

①下から
2～4段目を
使用する。



体　重	参考身長	肩ハーネスの位置（目安）
首すわりから10kg未満	60cm位	下から2段目
	70cm位	下から3段目
	80cm位	下から4段目

②肩に近い位置の肩ハーネス通し穴を使用する。

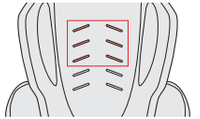


警告
・後向き使用時の肩ハーネス通し穴位置は、下から2～4段目以外では使用しない。
・お子さまの肩より低い肩ハーネス通し穴を使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

前向き使用時

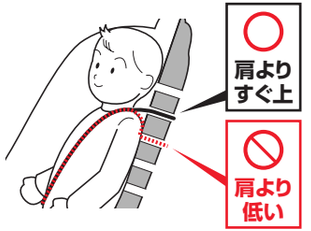
■肩ハーネス通し穴の位置

①下から
3～5段目を
使用する。



体　重	参考身長	肩ハーネスの位置（目安）
9kgから18kgまで	70cm位	下から3段目
	80cm位	下から4段目
	100cm位	下から5段目

②肩よりすぐ上の位置の肩ハーネス通し穴を使用する。



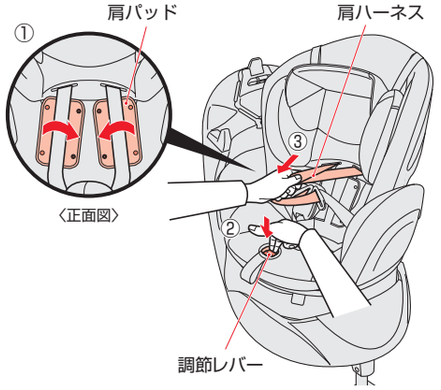
警告
・前向き使用時の肩ハーネス通し穴位置は、下から3～5段目以外では使用しない。
・お子さまの肩より低い肩ハーネス通し穴を使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・参考身長は目安です。お子さまの肩の高さに合わせて調節してください。
・パッド類の取り付けが必要です。お子さまの発育状況により使用してください。（P39～P40参照）

危険　・体重の条件を満たしていないお子さまには使用しない。

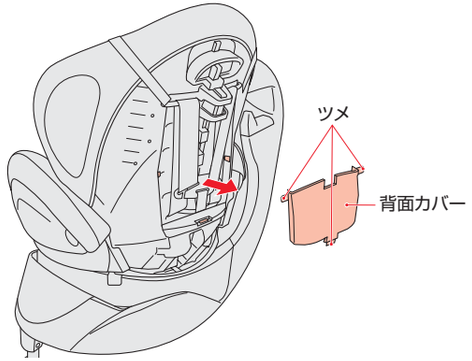
肩ハーネス／らくすやマクラ／アジャスト成長マモールの高さ調節のしかた

1 ①左右の肩パッドのホックを外す。
②調節レバーを押す。
③レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。



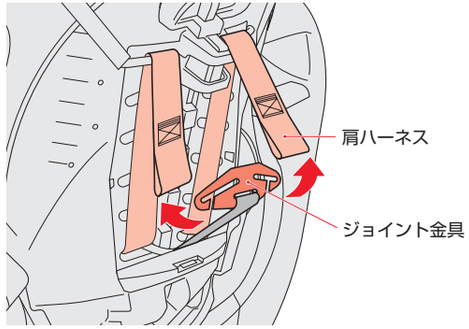
アドバイス 肩ハーネスを緩める際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。

2 背面カバーのツメ（3カ所）を外す。



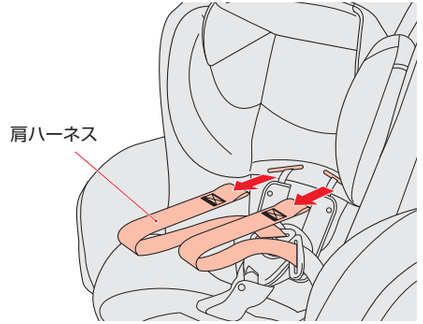
注意 ・背面カバーを取り外した状態で本体を回転させない。

3 左右の肩ハーネスをジョイント金具から取り外す。



〈背面図〉

4 左右の肩ハーネスをシート前側から引き抜く。

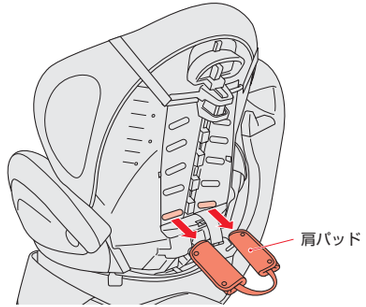


〈正面図〉

アドバイス 腰パッドを取り外す場合は、タングを外して腰パッドを抜き取ります。（P42参照）

肩ハーネス／らくすやマクラ／アジャスト成長マモールの高さ調節のしかた

5 肩パッドを背面側から引き抜く。
（左右）

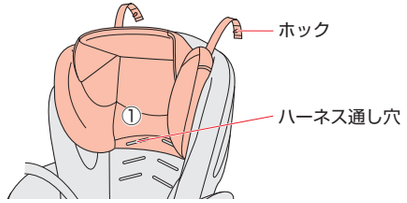


〈背面図〉

アドバイス 肩ハーネス高さ調節時に、らくすやマクラ/アジャスト成長マモールの高さ調節や取り外しを行います。
（P39参照）

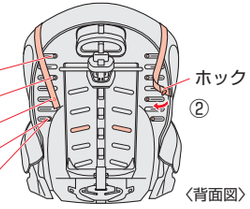
6 **〈らくすやマクラ/アジャスト成長マモールの高さを変える〉**

①ホックを外し、らくすやマクラ/アジャスト成長マモール穴位置をお子さまの肩の位置にあった肩ハーネス通し穴に合わせる。（P31～P32参照）
②ホックを肩ハーネスの位置に合わせてしっかり差し込む。



〈肩ハーネスの位置〉

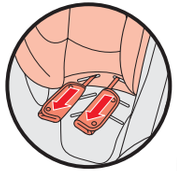
下から	ホック差し込み位置
1段目	1番上（1）
2段目	2番目（2）
3段目	3番目（3）
4段目	1番下（4）
5段目	1番下（5）



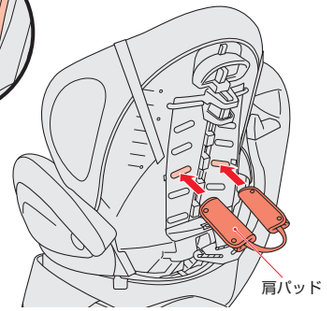
〈背面図〉

・肩ハーネス通し穴が下から3段目の場合、3番目（3）のホック差し込み位置にホックを差し込みます。

7 肩パッドを使用する肩ハーネス通し穴と、らくすやマクラ/アジャスト成長マモールの通し穴に通す。



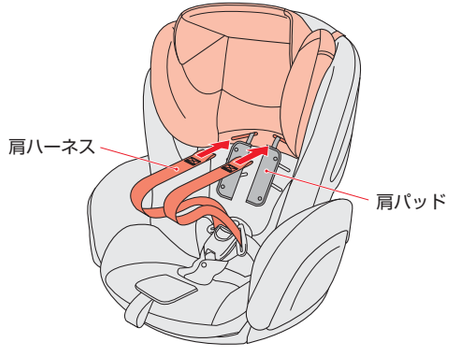
〈正面図〉



〈背面図〉

警告
・肩パッドを裏表逆で使用しない。
・肩パッドを左右違う高さで使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

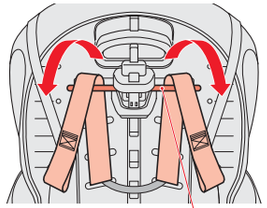
8 左右の肩ハーネスを肩パッドを通した、らくすやマクラ/アジャスト成長マモールの通し穴と肩ハーネス通し穴に通す。



警告
・肩ハーネス通し穴は、肩パッドを通した穴以外では使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

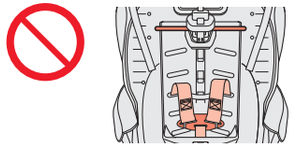
肩ハーネス／らくすやマクラ／アジャスト成長マモールの高さ調節のしかた

9 左右の肩ハーネスを肩ハーネスバーに通す。

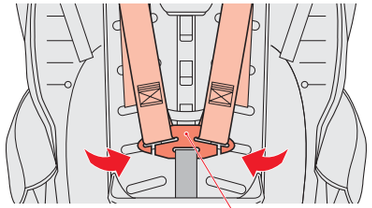


警告

・左右の肩ハーネスを肩ハーネスバーに通さずに使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

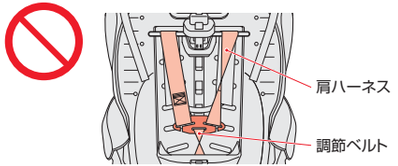


10 肩ハーネスをジョイント金具に差し込む。

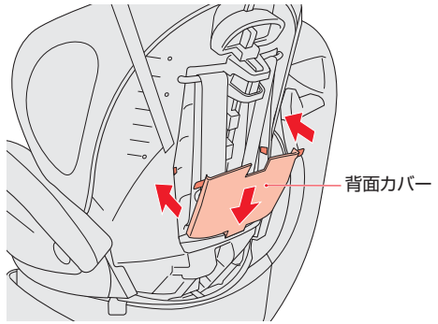


警告

・肩ハーネス、調節ベルトがねじれた状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



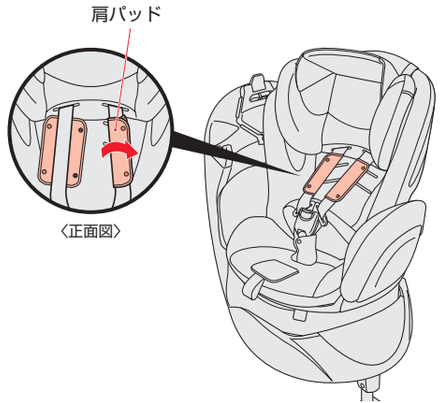
11 背面カバーを取り付ける。



注意

・背面カバーを取り外した状態で本体を回転させない。

12 肩パッドを肩ハーネスに巻き付け、ホックをとめる。



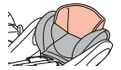
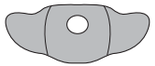
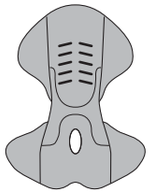
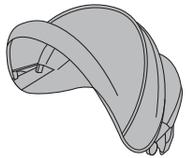
警告

・肩パッドを取り外した状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

パッド／フレックスシェードの使いかた

・お子さまの発育状況により下記の表を参考に使用してください。
・ご購入いただいた商品により付属品が異なります。（P5参照）

◯：必ず取り付けてください。
◯：取り外し可能です。
⃠：必ず取り外してください。

	らくすやマクラ／アジャスト成長マモール		腰パッド	肩パッド	頭マモールパッド	ヒップインナーシート	プロテクトゲル		快適フィットマット	フレックスシェード
	フラディア シリーズ共通 ディアターン 	ヘッドガード  〈起こした状態〉 〈倒した状態〉					・プロテクトゲルには向きがあります。 〈表面〉 〈裏面〉	ヘッドガード 〈起こした状態〉 〈倒した状態〉		
横向きベッド	◯	起こす	◯	◯	◯	◯	◯	起こす	◯	◯
後向き	◯	起こす／倒す	◯	◯	⃠	◯	◯	起こす／倒す	◯	◯
前向き	◯	倒す	◯	◯	⃠	◯	◯	倒す	◯	◯

・肩ハーネスの高さ調節を行うときにパッド類を取り付けてください。

アドバイス 後向き・前向き時も、らくすやマクラ／アジャスト成長マモールのご使用をおすすめします。

⚠警告
・肩パッドを取り外した状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・本製品のいかなる部品もお子さまの遊び道具として使用させない。
・取り外したパッド類、フレックスシェードはトランクルームやカーゴルームに保管し、車内に保管しない。

⚠注意
・プロテクトゲルのカバーは外さないでください。
・プロテクトゲルを口に入れない。プロテクトゲルは食べられません。
・パッド類を強く折り曲げたり、刃物などで切ったりしないでください。
・パッド類を取扱説明書記載の目的以外で使用しないでください。

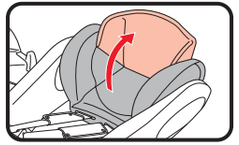
・プロテクトゲルの使いかた（P41参照）
・快適フィットマットの使いかた（P43参照）
・フレックスシェードの使いかた（P44～P48参照）
・お手入れのしかた（P79参照）

パッド／フレックスシェードの使いかた

1 〈ヘッドガードの使いかた〉

〈ヘッドガードを起こして使用するとき〉

・横向きベッド、後向き使用時。

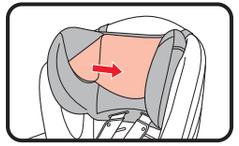


・ヘッドガードを起こす。

⚠警告
・ヘッドガードを起こした状態で前向きで使用しない。（P39参照）

〈ヘッドガードを倒して使用するとき〉

・後向き、前向き使用時。

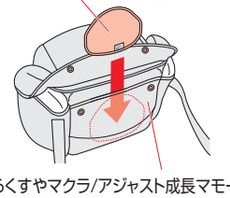


・ヘッドガードをしっかり押し込む。

⚠警告
・ヘッドガードを倒した状態で横向きベッドで使用しない。（P39参照）

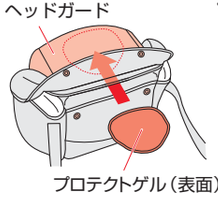
2 〈プロテクトゲルの使いかた〉（フラディア エスのみ）

・プロテクトゲルには向きがあります。ラベルを確認し、正しい向きでご使用ください。



〈ヘッドガードを起こして使用するとき〉

①らくすやマクラ/アジャスト成長マモールのホックを外す。
②プロテクトゲルの表面がお子さま側になるように、らくすやマクラ/アジャスト成長マモールの内側に入れる。
③ホックをとめる。



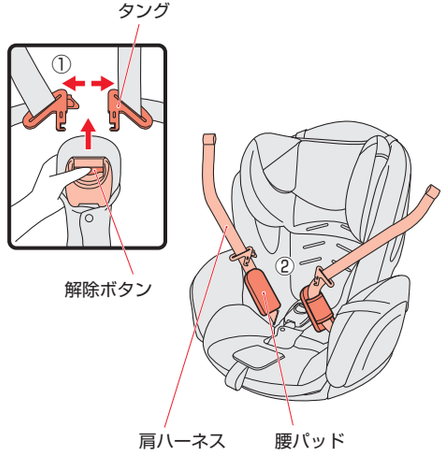
〈ヘッドガードを倒して使用するとき〉

①らくすやマクラ/アジャスト成長マモールのホックを外す。
②プロテクトゲルの表面がお子さま側になるようにヘッドガードの内側に入れる。
③ホックをとめる。

⚠注意
・プロテクトゲルのカバーは外さないでください。
・プロテクトゲルを口に入れない。プロテクトゲルは食べられません。

3 〈腰パッドの取り付け〉

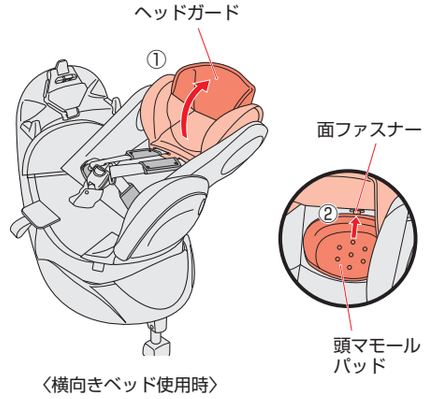
①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②肩ハーネスに通して取り付ける。



4 〈頭マモールパッドの取り付け〉

①ヘッドガードを起こす。
②頭マモールパッドの面ファスナーを差し込み、とめる。

・頭マモールパッドは横向きベッド（下から1、2、3段目）で使用できます。



〈横向きベッド使用時〉

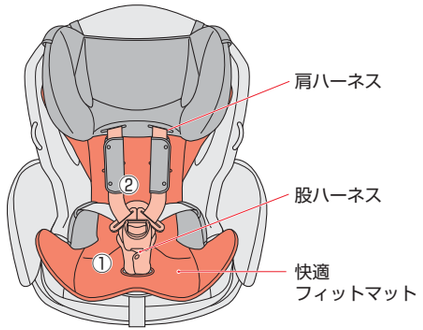
パッド／フレックスシェードの使いかた

5 〈快適フィットマットの取り付け〉

（フラディア エスのみ）

①肩ハーネス、股ハーネスを通し穴に通す。
②タングをバックルに差し込む。

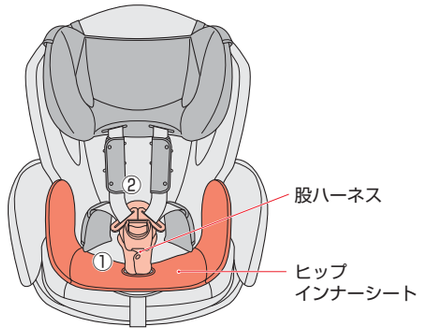
・らくすやマクラ/アジャスト成長マモールと併用する際は、先に快適フィットマットを取り付けてください。



6 〈ヒップインナーシートの取り付け〉

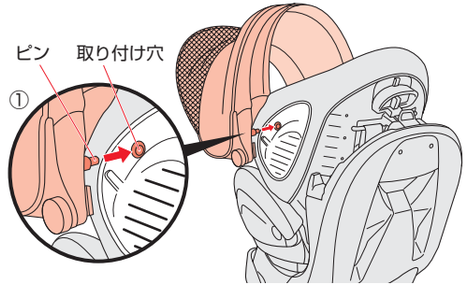
（フラディアのみ）

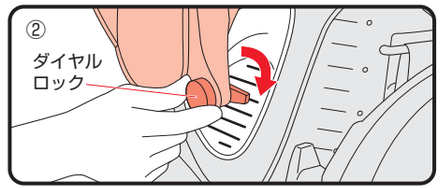
①股ハーネスを通し穴に通す。
②タングをバックルに差し込む。



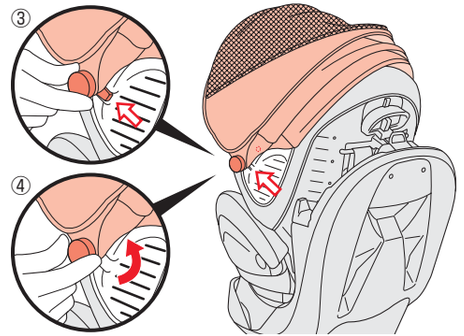
7 〈フレックスシェードの取り付け〉

①ベンチレーションパネルの取り付け穴にピンを差し込む。（左右）
②ダイヤルロックを矢印の方向に回す。（左右）





③フレックスシェードをスライドさせ、ダイヤルロック裏側のロック部をベンチレーションパネルの溝に差し込む。（左右）
④ダイヤルロックが戻りフレックスシェードが固定される。（左右）



・取り外すときは、ダイヤルロックを回してからフレックスシェードをスライドさせてください。

注意
・左右共にしっかりロックされていることを確認してください。
・窓を大きく開けて走行するなど、車内に風が強く吹き込む状態では使用しないでください。

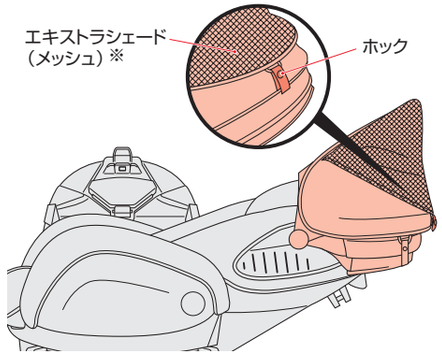
パッド／フレックスシェードの使いかた

8 〈フレックスシェードの使いかた〉

横向きベッド時の使いかた（4Way）

〈1段目使用時〉

・エキストラシェード（メッシュ）※ がホックでとまっていることを確認する。

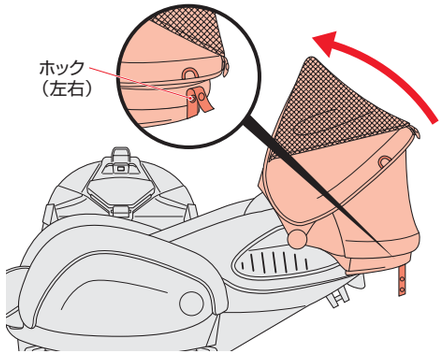


警告

・エキストラシェード（メッシュ）※ を使用しない時は、ホックでとめること。

〈2段目使用時〉

・フレックスシェードの左右のホックを外し、矢印の方向に開く。

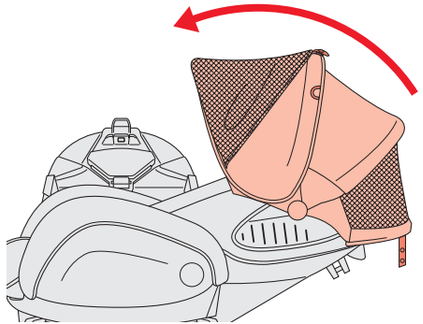


注意

・同乗者がいない場合は、お子さまの顔が見える2段目までの使用にしてください。

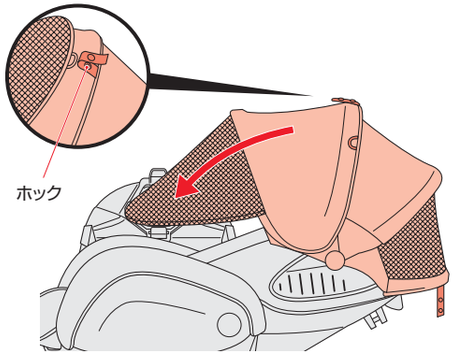
〈3段目使用時〉

・フレックスシェードを矢印の方向に開く。



〈エキストラシェード（メッシュ）※ 使用時〉

・エキストラシェード（メッシュ）※ のホックを外し、矢印の方向に開く。



警告

・エキストラシェード（メッシュ）※ を使用しない時は、ホックでとめること。

※エキストラシェード（メッシュ）はフラディア エスのみの仕様です。

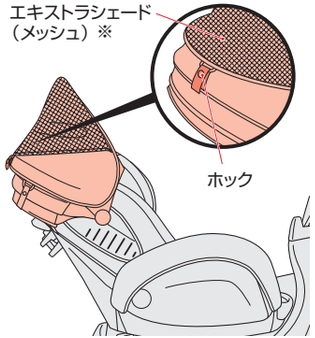
※エキストラシェード（メッシュ）はフラディア エスのみの仕様です。

パッド／フレックスシェードの使いかた

後向き時の使いかた（3Way）

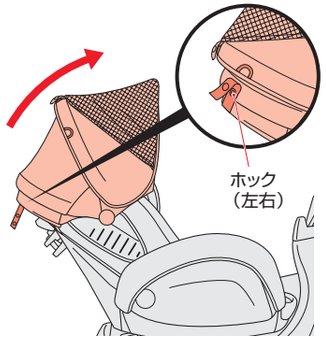
〈1段目使用時〉

・エキストラシェード（メッシュ）※ がホックでとまっていることを確認する。



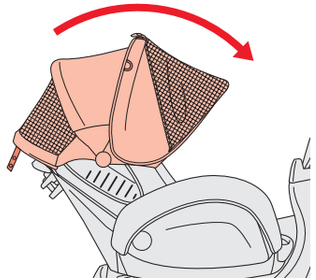
〈2段目使用時〉

・フレックスシェードの左右のホックを外し、矢印の方向に開く。



〈3段目使用時〉

・フレックスシェードを矢印の方向に開く。



警告

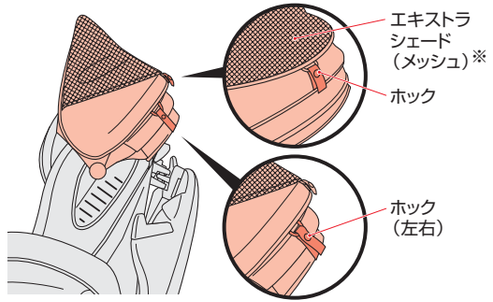
・後向き時はエキストラシェード（メッシュ）※ を使用しない。
ベルトロックとエキストラシェード（メッシュ）※ が干渉し、ベルトロックが解除されるおそれがあります。

※エキストラシェード（メッシュ）はフラディア エスのみの仕様です。

前向き時の使いかた

〈1段目使用時〉

・エキストラシェード（メッシュ）※ がホックでとまっていることを確認する。
・フレックスシェードを左右のホックでとめ、1段目で固定されていることを確認する。



警告

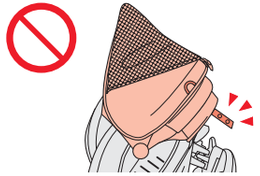
・前向き時はフレックスシェードの1段目以外で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・エキストラシェード（メッシュ）※ を使用しない時は、ホックでとめること。

※エキストラシェード（メッシュ）はフラディア エスのみの仕様です。

警告

・お子さまの頭がフレックスシェードに接触する場合はフレックスシェードを使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・フレックスシェードをホックでとめずに前向きで使用しない。



取り付け準備

●お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。

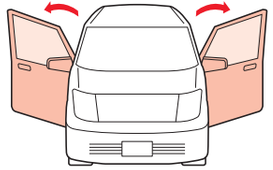
●本書では、左後部座席に取り付ける場合を例として説明しています。

●車の座席形状やシートベルトの種類により、取り付け出来ない場合があります。
詳しくはP11～P14を参照してください。

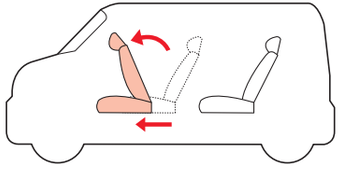
危険
- フロントエアバッグ装備車の助手席には本製品を取り付けない。
- チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。
- シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
- 補助座席、幼児専用座席には使用しない。
- レッグサポートを収納した状態で取り付けない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

1 〈取り付け作業のスペース確保〉

①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。

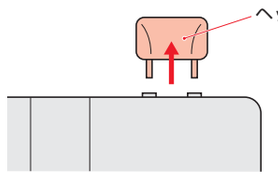


②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内での作業スペースを確保できます。



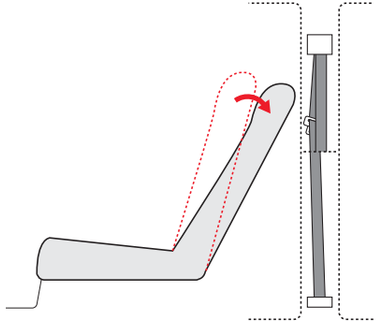
2 〈取り付ける座席の準備〉

- ヘッドレストが取り外せる場合は取り外す。
- 取り外したヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。

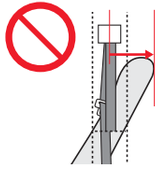


警告
- 緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。
- 車のヘッドレストがチャイルドシートのベルトロックレバーに干渉した状態で取り付けない。
ベルトロックが解除されるおそれがあり、衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- 取り外したヘッドレストを室内に保管するとけがのおそれがあります。

アドバイス 背もたれがリクライニングする場合は少し後方へ倒す。



警告
- 車の座席がスライドできる場合は、座席の背もたれの上部がシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

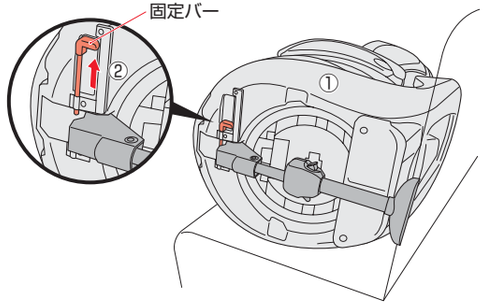


取り付けかた

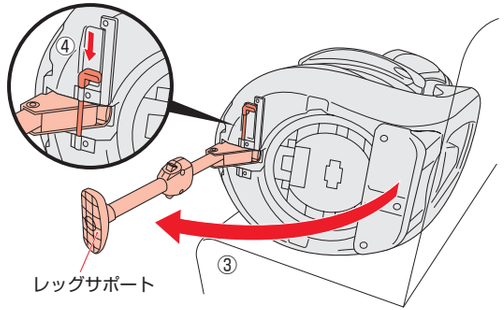
・本製品は、横向きベッド、後向き、前向きの3通りの使用方法がありますが、車への取り付けかたは共通です。
車への取り付けが完了した後で、お子さまの体重に合わせてシート部を回してご使用ください。
・本書では助手席側後部座席での取り付けかたを説明しています。運転席側では取り付けかたが左右逆になります。

1 〈レッグサポートを起こす〉

①作業するスペースを充分に確保し、本体を横に寝かせる。
②ベース底面の固定バーを引き、ロックを解除する。



③レッグサポートを起こす。
④固定バーを差し込み、ロックする。



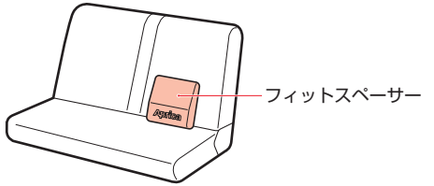
・レッグサポートがしっかり固定されていることを確認する。

警告
・手、指などを挟まないようにしてください。
思わぬ重傷を負う可能性があります。
・固定バーを必ずロックすること。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

注意
・チャイルドシートを周囲のものにぶつけないように注意してください。

2 〈フィットスペーサーを取り付ける〉

チャイルドシートを乗せる座席にフィットスペーサーを置く。

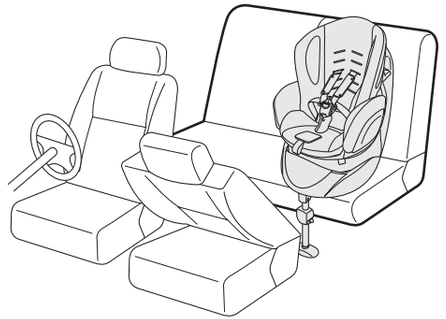


アドバイス
・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。
・フィットスペーサーは「Aprica」のロゴが車の進行方向に向くようにご使用ください。

警告
・チャイルドシートと座席の背もたれに大きな隙間が生じる場合は使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・座席のリクライニングを使用して隙間を減らしてください。

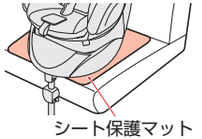
3 〈チャイルドシートをのせる〉

チャイルドシートを車の後部座席にのせる。



アドバイス
お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。

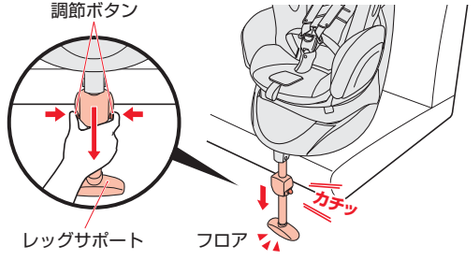
注意
・車の座席が革仕様の場合には直接のせない。
（別売のシート保護マットをご使用ください。）
座席の革をいためるおそれがあります。



4 〈レッグサポートの長さを調節する〉

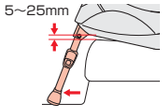
左右の調節ボタンを押し、レッグサポートを車のフロアにしっかり接するように調節する。

・出荷時は最も短い状態から4段目の長さになっています。



・レッグサポートがしっかり固定され、調節ボタンが「カチッ」とロックされていることを確認する。

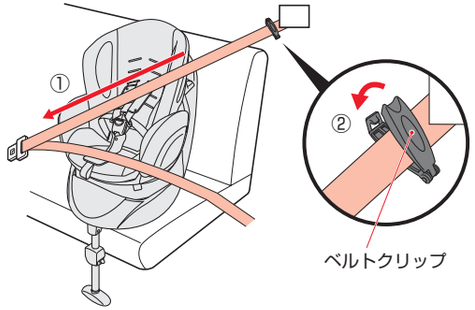
アドバイス
・座席から少し、浮かせてください。（5～25mm程度）
・レッグサポートは前方へ傾けた状態で接地させてください。



警告
・レッグサポートが車のフロアから離れていないこと。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

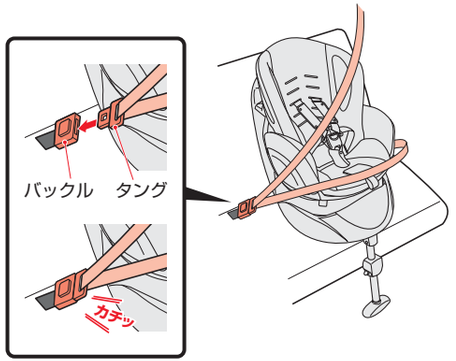
5 〈車のシートベルトを取り付ける〉

①シートベルトを全て引き出す。
②ベルトクリップで仮止めする。



・ALR/ELR（チャイルドロック機構付）のシートベルトの場合は、ロックがかかるとシートベルトを引き出せなくなります。
この場合、シートベルトを全てもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。（P13参照）

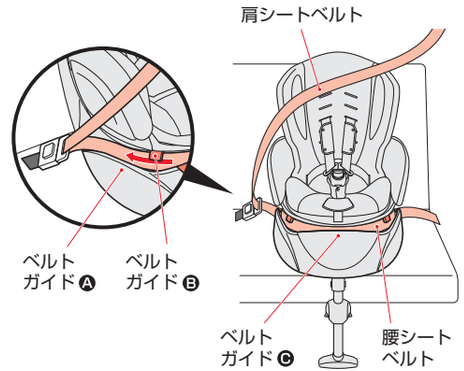
6 シートベルトのタングをバックルに差し込む。



警告
・シートベルトにねじれがないこと。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

7 〈腰シートベルトを通す〉

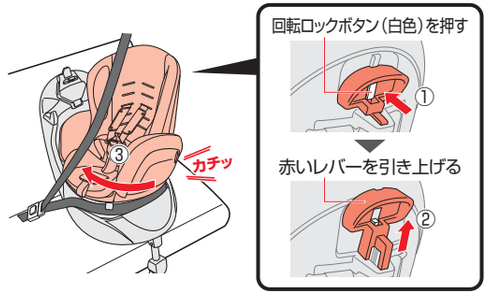
腰シートベルトを左右のベルトガイド Ⓐ、Ⓑ、正面のベルトガイド Ⓒ の溝に通す。



警告
・腰シートベルトにねじれ、たるみがないこと。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

8 〈シート部を回して横向きにする〉(P23参照)

①回転ロックボタン(白色)を押す。
②ボタンを押したまま赤いレバーを引き上げる。
③横向きに回転させる。



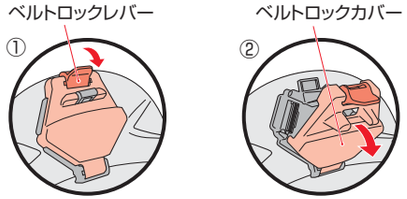
〈背面図〉

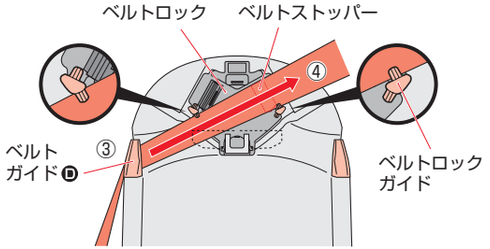
警告

・シート部を回転させるときに手、指、お子さまの足などを挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。
・回転後、回転ロックボタン(白色)、赤いレバーが戻り、シート部が固定されていること。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

9 〈ベルトロックを開き、肩シートベルトを通す〉

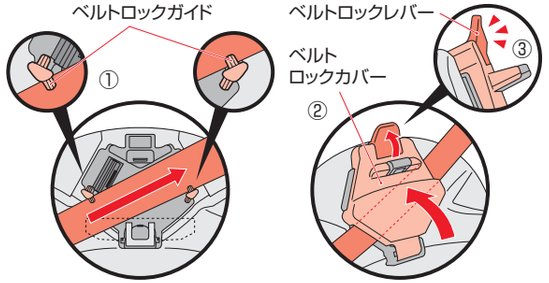
①ベルトロックレバーを解除する。
②ベルトロックカバーを開く。
③肩シートベルトをベルトガイドⒹに通す。
④左右のベルトロックガイドの下に通す。





10 〈ベルトロックを閉じる〉

①肩シートベルトが左右のベルトロックガイドの下を通っていることを確認する。
②肩シートベルトを引いたまま、ベルトロックカバーを閉じ、ロックする。
③ベルトロックレバーがしっかりロックされていることを確認する。



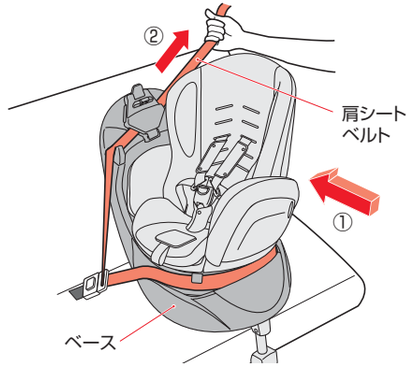
・肩シートベルトが左右のベルトロックガイドの下を通らず正しくセットされていないと、肩シートベルトの締め付けが行えない場合があります。その場合はベルトロックをロックし直してください。

警告

・肩シートベルトがたるんだ状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

11 〈肩シートベルトをしめつける〉

①ベースを座席の背もたれに押しつける。
②ベースを押したまま肩シートベルトを強く引く。

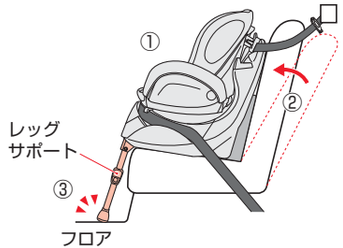


警告

・肩シートベルトにねじれ、たるみがないこと。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

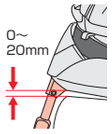
取り付けかた

12 **〈座席の背もたれを起こす〉**
①本体を前向きにする。
②座席の背もたれをベースに強く当たるまで起こす。（可能な車の場合）
③レッグサポートが車のフロアにしっかり接していることを確認する。

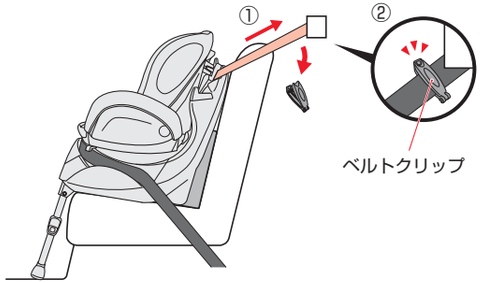


・車の座席がリクライニングできない場合は、ベースと座席の背もたれが接していること。

注意
・ベースと座席の隙間が0～20mm未満であること。20mm以上のときは、レッグサポートを1段縮める。
・レッグサポートがフロアから浮いた場合は、シートベルトを取り外し、レッグサポートを伸ばしてもう一度取り付けてください。



13 **〈肩シートベルトを巻き取る〉**
①仮止めしたベルトクリップを外し、余分な肩シートベルトを巻き取る。
②再度ベルトクリップを取り付ける。



・必ず取り付け後の確認を行ってください。（P58参照）

警告
・チャイルドシートと座席の背もたれに大きな隙間が生じる場合は使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・座席のリクライニングを使用して隙間を減らしてください。

取り付け後の確認

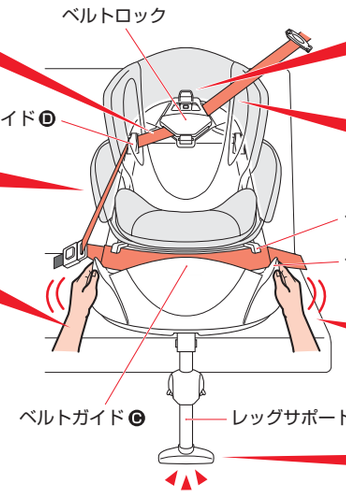
・取り付けが終わったら、チャイルドシートがしっかり固定されていることを必ず確認する。
しっかり固定されていないと、衝突などの際に、充分性能を発揮できません。

車のシートベルトに緩み、たるみがない。（シワは問題ありません。）

フィットスペーサーを使用している。

車のシートベルトのタングがバックルに差し込まれている。

・全て確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度P51～P57の手順で取り付け直してください。



ベルトロックレバーがロックされている。（P56参照）

車のシートベルトがベルトガイドⒶ・Ⓑ・Ⓒ・Ⓓ を通り、ベルトロックで固定している。

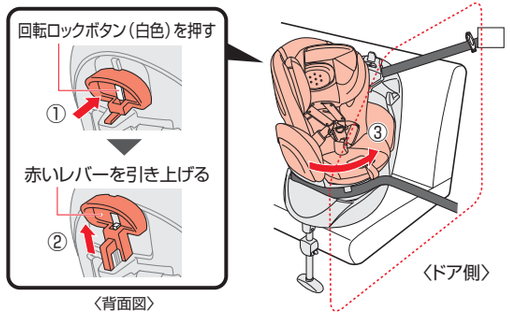
ベース部分を両手で持ち、前後左右に動かしてベース部分が約3cm以上ずれない。

レッグサポートが車のフロアにしっかり接している。

横向きベッド／横向きベッドにする 〈体重：2.5kgから 9kg未満〉
(P9「お子さまの条件」参照)

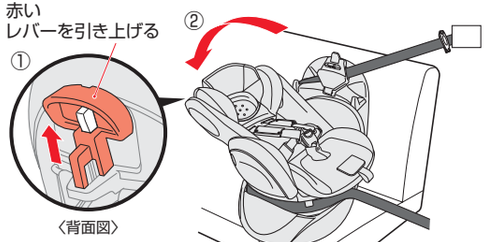
⚠ 危険 ・ベッド以外で横向きに使用しない。

1 **〈シート部正面をドア側に回転させる〉**（P23参照）
①回転ロックボタン（白色）を押す。
②ボタンを押したまま赤いレバーを引き上げる。
③シート部を横向きに回転させる。



⚠ 警告
・本製品を横向きベッドで使用する時は、車の進行方向に対して直角に使用すること。
・シート部を回転させるときにお子さまの手、指、足などを挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。
・回転後、回転ロックボタン（白色）、赤いレバーが戻り、シート部が固定されていること。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

2 **〈背もたれを倒す〉**（P25参照）
①赤いレバーを引き上げる。
②背もたれを3段目〈横向きベッド専用〉にする。



・操作後、赤いレバーが戻り、背もたれが固定されていること。

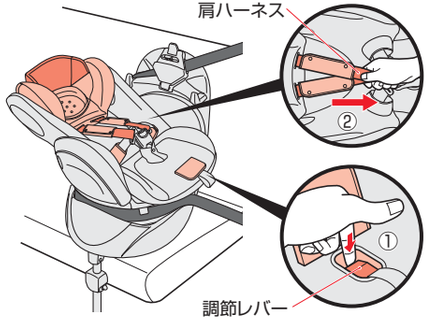
⚠ 警告
・リクライニング・回転操作時は、お子さまの手や指などを近づけないこと。手や指などが挟まれ、けがを負うおそれがあります。

・赤いレバーが戻らない状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

横向きベッド／お子さまの乗せかた 〈体重：2.5kgから 9kg未満〉

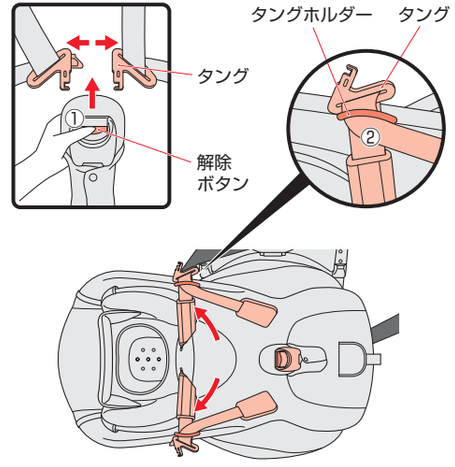
1 **〈肩ハーネスをゆるめる〉**
①調節レバーを押す。
②レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。
（肩パッドより下の肩ハーネスを引く。）

アドバイス
- **らくすやマクラ/アジャスト成長マモールが取り付けられ、ヘッドガードが起こされていること。**（P41参照）
- **腰パッドが取り付けられていること。**（P42参照）



アドバイス 肩ハーネスを緩める際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。

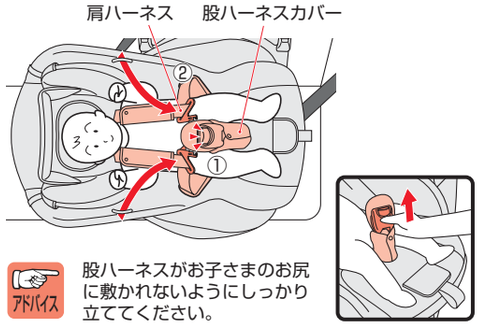
2 **〈タングを外す〉**
①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②左右のタングをタングホルダーに引掛ける。



横向きベッド／お子さまの乗せかた〈体重：2.5kgから 9kg未満〉

3 〈お子さまを乗せる〉

①お子さまの股間と股ハーネスカバーが接するように中央に寝かせる。
②左右のタングをタングホルダーから外す。



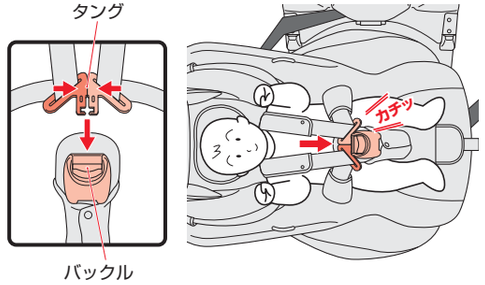
アドバイス　股ハーネスがお子さまのお尻に敷かれないようにしっかり立ててください。

・肩ハーネスは、真上から見て肩に近い位置の肩ハーネス通し穴を通っていること。(P31参照)

警告
・お子さまの足が座面の先端から出る場合は横向きベッドで使用しない。
ドアなどに足があたり、けがを負うおそれがあります。

4 〈タングを差し込む〉

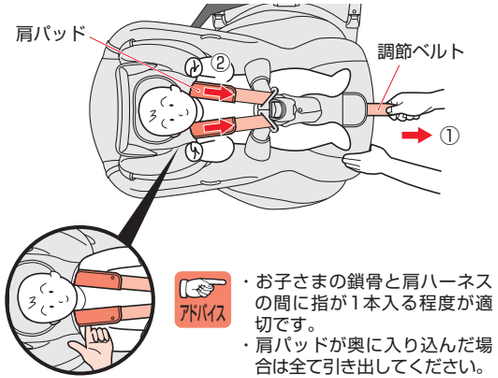
左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



警告
・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。
・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

5 〈肩ハーネスを短く調節する〉

①調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
②左右の肩パッドを引き出す。

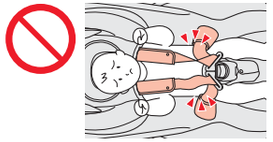


アドバイス
・お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。
・肩パッドが奥に入り込んだ場合は全て引き出してください。

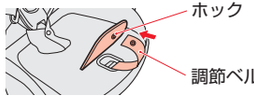
注意
・背面カバーにジョイント金具が引っかかっていないことを確認する。
調節ベルトが充分に引っ張れないおそれがあります。

警告
・お子さまを乗せたままリクライニング操作をしない。
・お子さまを乗せた状態で回転させる時は、お子さまの手足を本体とベースの間などに挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。

警告
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



注意
・調節ベルトのホックが座面カバー裏側のホックにとまっていること。
外れた状態で本体を回転させると調節ベルトが巻き込まれるおそれがあります。



横向きベッド使用時の確認〈もう一度ご確認いただきたい項目です。〉

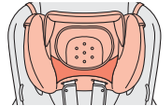
⚠警告

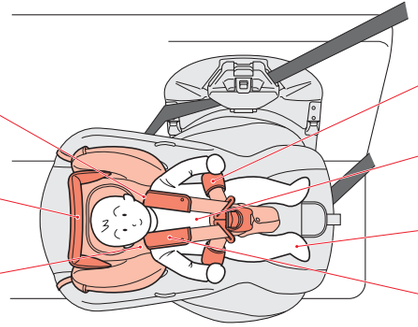
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・正しく取り付けられたパッド類以外の物をチャイルドシート内におかない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

肩に近い位置の肩ハーネス通し穴を通っていること。

らくすやマクラ/アジャスト成長マモールが取り付けられ、ヘッドガードが起こされていること。

らくすやマクラ/アジャスト成長マモール下部のふくらみをお子さまの首の後ろに合わせること。





腰パッドが取り付けられていること。

お子さまを中央に寝かせること。

お子さまの足が座面の先端から出ていないこと。

左右の肩パッドが引き出されていること。

背面カバーにジョイント金具が引っかかっていないこと。
調節ベルトが充分に引っ張れないおそれがあります。

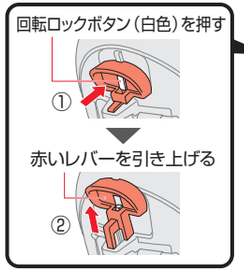
・正しくできていない場合は、もう一度P59〜P62の手順をやり直してください。
・車のシートベルトにお子さまを乗せる前と比べて大きな緩みが無いこと。

後向き／お子さまの乗せかた〈首すわりから 10kg未満〉(P9「お子さまの条件」参照)

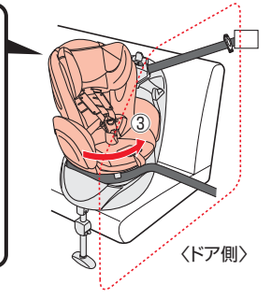
1 〈シート部正面をドア側に回転させる〉(P23参照)

①回転ロックボタン(白色)を押す。
②ボタンを押したまま赤いレバーを引き上げる。
③シート部を横向きに回転させる。

アドバイス　らくすやマクラ/アジャスト成長マモールはヘッドガードを倒しても起こしても使用できます。



〈背面図〉



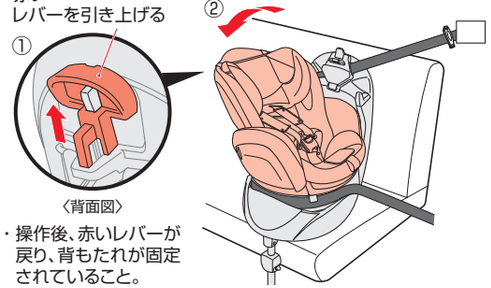
〈ドア側〉

⚠危険　・ベッド以外で横向きに使用しない。

⚠警告
・シート部を回転させるときにお子さまの手、指、足などを挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。
・回転後、回転ロックボタン(白色)、赤いレバーが戻り、シート部が固定されていること。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

2 〈背もたれを倒す〉(P25参照)

①赤いレバーを引き上げる。
②背もたれを2段目〈後向き専用〉にする。



〈背面図〉

・操作後、赤いレバーが戻り、背もたれが固定されていること。

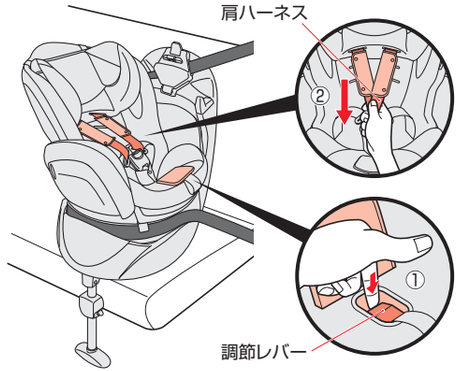
⚠警告
・リクライニング・回転操作時は、お子さまの手や指などを近づけないこと。手や指などが挟まれ、けがを負うおそれがあります。
・赤いレバーが戻らない状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

⚠注意　・リクライニングを一番起こして後向きでは使用しないでください。

後向き／お子さまの乗せかた〈首すわりから 10kg未満〉

3 〈肩ハーネスをゆるめる〉

①調節レバーを押す。
②レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。
（肩パッドより下の肩ハーネスを引く。）

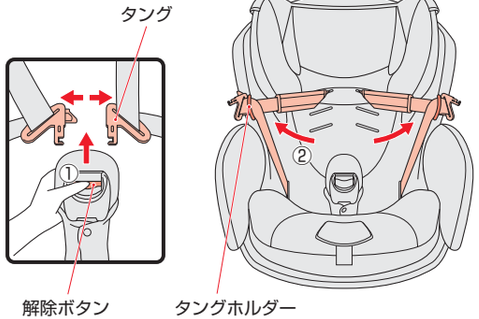


アドバイス

肩ハーネスを緩める際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。

4 〈タングを外す〉

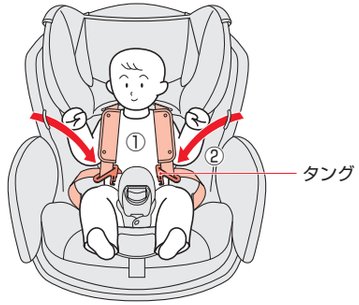
①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②左右のタングをタングホルダーに引掛ける。



5 〈お子さまを乗せる〉

①お子さまを座席に深く座らせる。
②左右のタングをタングホルダーから外す。

・肩ハーネスは、正面から見て肩に近い位置の肩ハーネス通し穴を通っていること。（P32参照）

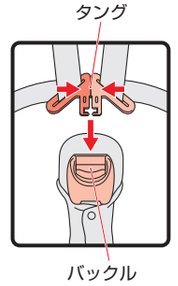


アドバイス

らくすやマクラ/アジャスト成長マモールのヘッドガードがお子さまの頭頂に当たる場合は、ヘッドガードを倒してご使用ください。

6 〈タングを差し込む〉

左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。

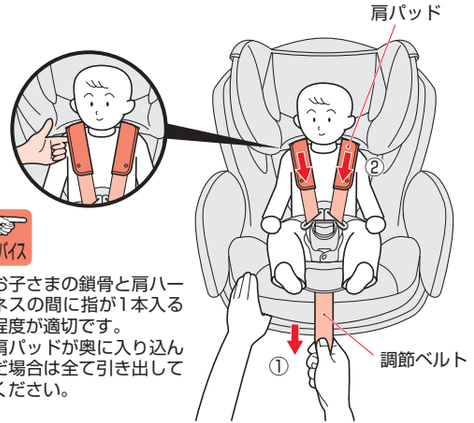


警告

・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。
・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

7 〈肩ハーネスを短く調節する〉

①調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
②左右の肩パッドを引き出す。



アドバイス

・お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。
・肩パッドが奥に入り込んだ場合は全て引き出してください。

注意

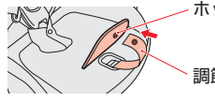
・背面カバーにジョイント金具が引っかかっていないことを確認する。
調節ベルトが充分に引っ張れないおそれがあります。

警告

・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

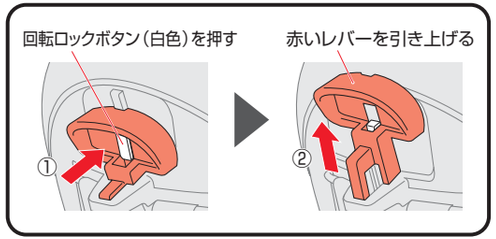
注意

・調節ベルトのホックが座面カバー裏側のホックにとまっていること。
外れた状態で本体を回転させると調節ベルトが巻き込まれるおそれがあります。



8 〈シート部を後向きに回転させる〉(P23参照)

①回転ロックボタン(白色)を押す。
②ボタンを押したまま赤いレバーを引き上げる。
③シート部を後向きに回転させる。



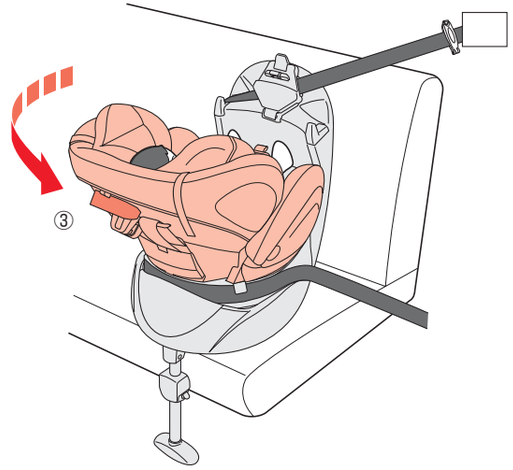
〈背面図〉

警告

・シート部を回転させるときにお子さまの手、指、足などを挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。
・回転後、回転ロックボタン(白色)、赤いレバーが戻り、シート部が固定されていること。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

注意

・リクライニングを2段目(後向き専用)にしないと後向きに回転できません。



警告

・お子さまを乗せたままリクライニング操作をしない。
・お子さまを乗せた状態で回転させる時は、お子さまの手足を本体とベースの間などに挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。

後向き使用時の確認〈もう一度ご確認いただきたい項目です。〉

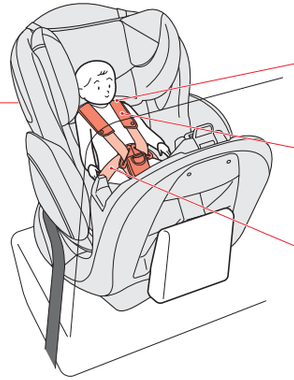
警告

・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・正しく取り付けられたパッド類以外の物をチャイルドシート内におかない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

注意

・リクライニングを一番起こして後向きでは使用しないでください。

背面カバーにジョイント金具が引っかかっていないこと。
調節ベルトが充分に引っ張れないおそれがあります。



肩に近い位置の肩ハーネス通し穴を通っていること。

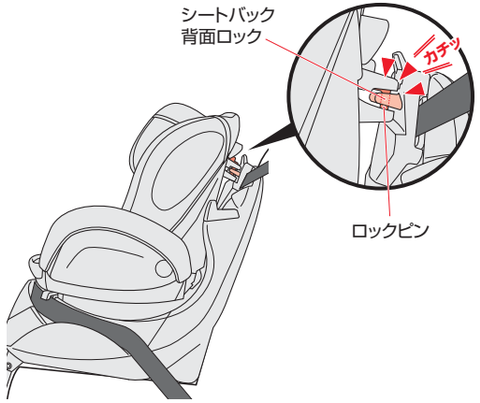
左右の肩パッドが引き出されていること。

お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。

・正しくできていない場合は、もう一度P64～P68の手順をやり直してください。
・車のシートベルトにお子さまを乗せる前と比べて大きな緩みが無いこと。

前向き／前向きにする〈体重：9kgから 18kgまで〉(P9「お子さまの条件」参照)

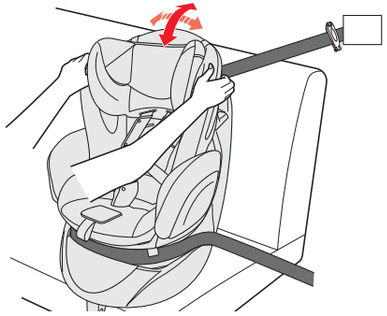
1 **〈目視で確認する〉**
ベース側のロックピンがシートバック背面ロックを通り、「カチッ」とロックされたことを確認する。



注意

・レバーを握り続けるとロックが入らない場合があります。

2 **〈手で動かして確認する〉**
本体上部を前後左右に動かし、本体が固定されていることを確認する。



警告

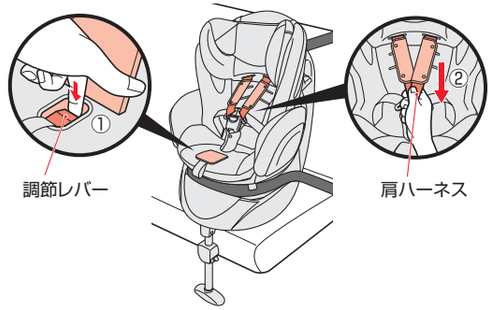
・シートバック背面ロックが必ずロックされていること。
・回転後、回転ロックボタン（白色）、赤いレバーが戻り、シート部が固定されていること。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

前向き／お子さまの乗せかた〈体重：9kgから 18kgまで〉

1 〈肩ハーネスをゆるめる〉

①調節レバーを押す。
②レバーを押したまま左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。
（肩パッドより下の肩ハーネスを引く。）

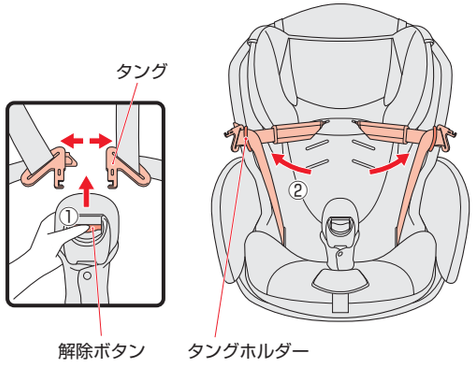
アドバイス　らくすやマクラ/アジャスト成長マモールはヘッドガードを倒して使用します。



アドバイス　肩ハーネスを緩める際は、肩パッドを持って引っ張らないでください。

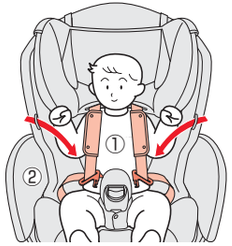
2 〈タングを外す〉

①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
②左右のタングをタングホルダーに引掛ける。



3 〈お子さまを乗せる〉

①お子さまを座席に深く座らせる。
②左右のタングをタングホルダーから外す。

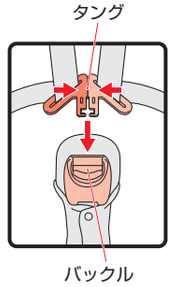


・肩ハーネスは、正面から見て肩よりすぐ上の位置の肩ハーネス通し穴を通っていること。（P32参照）

警告
・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出る場合は使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

4 〈タングを差し込む〉

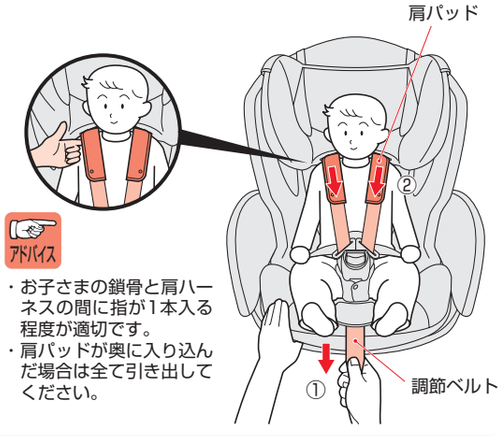
左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



警告
・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。
・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

前向き／お子さまの乗せかた〈体重：9kgから 18kgまで〉

5 **〈肩ハーネスを短く調節する〉**
①調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
②左右の肩パッドを引き出す。

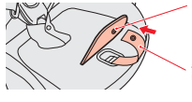


アドバイス
・お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。
・肩パッドが奥に入り込んだ場合は全て引き出してください。

⚠注意
・背面カバーにジョイント金具が引っかかっていないことを確認する。
調節ベルトが充分に引っ張れないおそれがあります。

⚠警告
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

⚠注意
・調節ベルトのホックが座面カバー裏側のホックにとまっていること。
外れた状態で本体を回転させると調節ベルトが巻き込まれるおそれがあります。



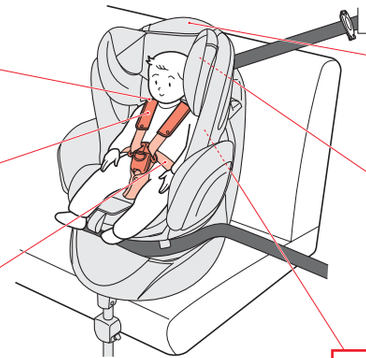
前向き使用時の確認〈もう一度ご確認いただきたい項目です。〉

⚠警告
・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
・正しく取り付けられたパッド類以外の物をチャイルドシート内におかない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

肩よりすぐ上の位置の肩ハーネス通し穴を通っていること。

左右の肩パッドが引き出されていること。

お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。



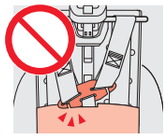
ロックされていることを手で動かして確認すること。

シートバック背面ロック

ロックピンが入っていることを目視で確認すること。

ロックピン

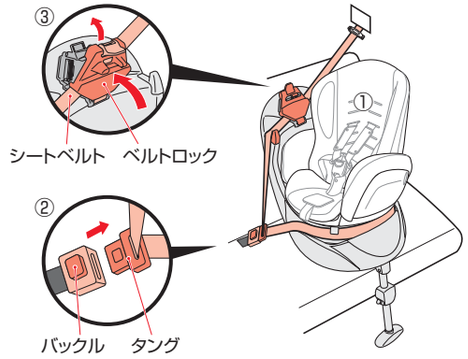
・正しくできていない場合は、もう一度P70～P73の手順をやり直してください。
・車のシートベルトにお子さまを乗せる前と比べて大きな緩みが無いこと。



背面カバーにジョイント金具が引っかかっていないこと。
調節ベルトが充分に引っ張れないおそれがあります。

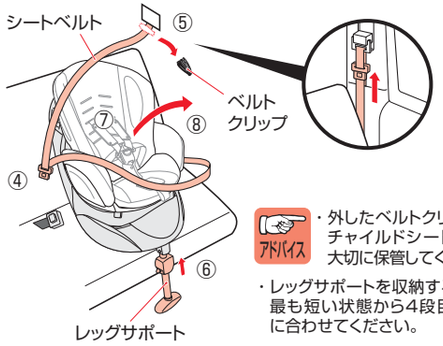
車からの取り外しかた

①本体をドア側（もしくは内側）に回転させる。
②車のシートベルトのバックルを解除し、タングを外す。
③ベルトロックを解除し、シートベルトを外し、ベルトロックを閉じる。



注意
・チャイルドシートを車から取り外す時はベルトクリップを最後に外す。（簡単に取り外しできます。）
ALR／ELR（チャイルドロック機構付）シートベルトの場合は取り外し作業中にベルトクリップを外すと、シートベルトが全て巻き取られて取り外しにくくなります。

④車のシートベルトをベルトガイドから外す。
⑤ベルトクリップを外し、車のシートベルトを巻き取る。
⑥レッグサポートを一番短くする。
⑦本体を前向きに回転させる。
⑧チャイルドシートを車の座席から降ろす。
⑨フィットスペーサーを車の座席から降ろす。



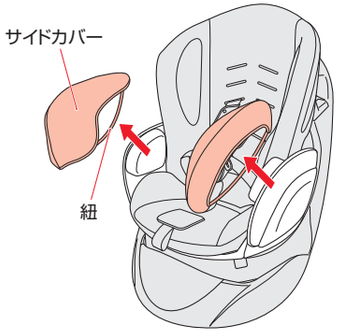
アドバイス
・外したベルトクリップは、チャイルドシートと共に大切に保管してください。
・レッグサポートを収納するときは最も短い状態から4段目の長さに合わせてください。

注意
・長時間使用されない時や保管の時には、レバーが正しくロックされているか確認してください。故障の原因になります。

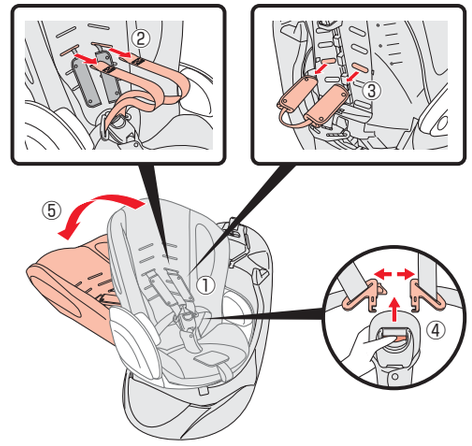
（P24参照）

シートカバーの外しかた

1 **〈サイドカバーを取り外す〉**
①サイドカバー下部の紐を外し、サイドカバーを取り外す。（左右）

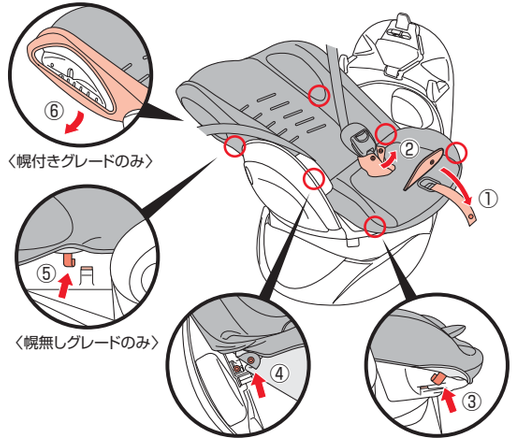


2 **〈肩パッド・肩ハーネスを取り外す〉**
①本体を横向きにする。
②肩ハーネス、③肩パッドを取り外す。
④バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
⑤リクライニングをベッド状態まで倒す。

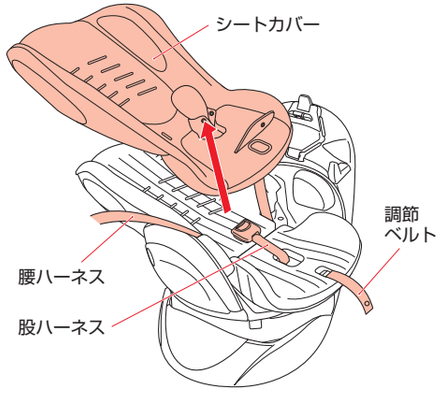


シートカバーの外しかた

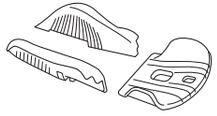
3 **〈ホック・フックを外す〉**
①調節ベルトのホックを外す。
②股ハーネスカバーのホックを外す。
③座面部のフックを外す。
④腰部のホックを外す。
⑤背もたれ横側のフックを外す。（幌無しグレードのみ）
⑥ベンチレーションパネルから外す。（幌付きグレードのみ）



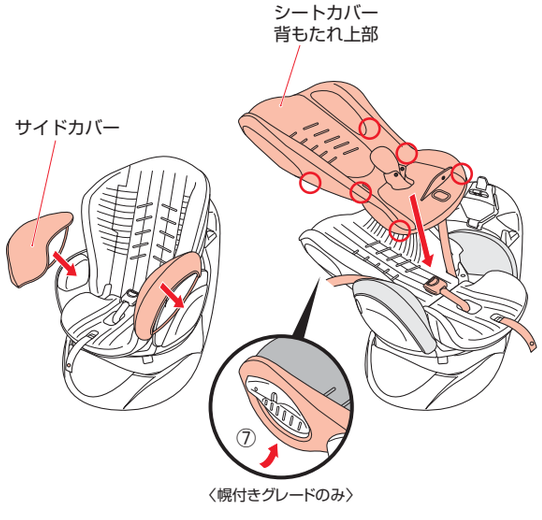
4 **〈シートカバーを取り外す〉**
①腰ハーネス、股ハーネス、調節ベルトを抜き取り、シートカバーを取り外す。



注意
・座面と背もたれサイドのクッションは洗えません。



シートカバーの取り付けかた



警告
・正しい取り付け方をしないと指挟みなどの思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

1 **〈サイドカバーを取り付ける〉**
①本体を前向きにする。
②サイドカバーをかぶせ、サイドカバー下部の紐を取り付ける。（左右）

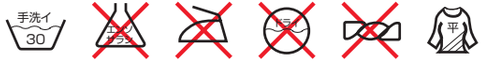
2 **〈シートカバーを取り付ける〉**
①本体を横向きベッドにする。
②シートカバーの背もたれ上部からかぶせる。
③腰ハーネス、股ハーネス、調節ベルトを通し穴に通す。
④腰部のホックをとめる。（左右）
⑤背もたれ横側のフックをとめる。（左右）
（幌無しグレードのみ）
⑥座面部のフックをとめる。（左右）
⑦ベンチレーションパネルにかぶせる。
（幌付きグレードのみ）
⑧股ハーネスカバーのホックをとめる。

3 **〈肩パッド・肩ハーネスを取り付ける〉**（P36参照）
①リクライニングを起こす。
②肩パッド・肩ハーネスを取り付ける。
③タングをバックルに差し込む。
④調節ベルトのホックをとめる。

・取り付け後、リクライニング操作をしてもシートカバーやクッションの浮きが無いことを確認してください。

お手入れ／保管／廃棄のしかた

〈シートカバー、ヒップインナーシート、快適フィットマットの洗濯〉



注意
- 他のものと一緒に洗濯しないでください。色移り（移染）のおそれがあります。
- らくすやマクラ/アジャスト成長マモール、肩パッド、頭マモールパッド、腰パッド、プロテクトゲル、フレックスシェードは洗濯できません。樹脂部分、ハーネス、パッド類のお手入れに従ってください。

〈樹脂部分、ハーネス、パッド類のお手入れ〉

〈樹脂部分にほこりなどが吸着した場合〉
- タオルなどで乾拭きしてください。
- 回転レバー付近にゴミがつまらないようにこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

〈水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合〉
- 40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。
- ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。

〈非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合〉
- 40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。
- ハーネス、パッド類は日陰で乾燥させてください。

注意
- 本体やパッド類、付属部品の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。変色、変形、劣化のおそれがあります。

〈保管するときは〉

- 本体を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。

注意
- 屋外に放置し、雨などにさらさない。劣化などにより、充分な性能を発揮できないおそれがあります。

〈廃棄するときは〉

- 事故や落下などにより強い衝撃を受けた製品には、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入し再利用を防止してください。
- 地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

〈製品仕様〉

(mm)

	高さ	幅	奥行き
横向きベッド時	566	790	593
後向き時	566	470	690
前向き時	670	470	593

※レッグサポート、日除けを除く

商品重量	13.8kg	
材質	樹脂部	ポリプロピレン
	シートクッション	ポリエチレン発泡・ポリウレタン発泡
	表生地	ポリエステル

取り付け可能車種一覧表

- このチャイルド シートは準汎用型であり、以下に記したシートポジションをもつ車種に適用します。
- 他の車両のシート位置でも本装置を装着するのに適したものがあります。疑問があるときは、弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- 本装置は、認可された車両がECE規則No.16または他の同等の基準で認可された自動車3点式／リトラクター付きシートベルトを装備している場合のみに適用しています。
- このチャイルドシートはフロントエアバッグが装備された助手席に使用できません。
- アップリカホームページ「http://www.aprica.jp/」で最新版がご覧になれます。

記号凡例

◎　：取り付けできます。
※1：リクライニング・シートスライドなどを使用する事でお取り付けが簡単になります。

メーカー名	車種名	年式	型式	調査座席	取り付け
トヨタ	ヴィッツ	'10／12～	NSP130, KSP130, NCP131	後部サイド	◎
ニッサン	モコ	'11／2～	MG33S	後部サイド	◎
ホンダ	フィット	'07／10～	GE6, GE7, GE8, GE9	後部サイド	◎
マツダ	デミオ	'07／7～	DE系	後部サイド	◎
スバル	トレジア	'10／11～	NCP120X, NSP120X, NSP122X	後部サイド	◎、※1
ミツビシ	デリカ D:2	'11／3～	MB15S	後部サイド	◎
スズキ	ソリオ	'11／1～	MA15S	後部サイド	◎
ダイハツ	ムーブ	'10／12～	LA100S, LA110S	後部サイド	◎

困ったときには〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

〈ご使用前に困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 参照 P84「アフターサービスについての連絡先」
チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	参照 P80「取り付け可能車種一覧表」または、インターネットのアップリカホームページ「http://www.Aprica.jp/」や店頭のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表を確認してください。
車のどの座席に取り付ければ良いのか判らない。	エアバックの有る助手席に取り付けることはできません。また、車両後部座席（3列シートの車両の場合は2列目以降の座席）への取り付けをお奨めします。参照 P11「座席の条件／座席の位置及び装備」
チャイルドシートをどの向きで使えば良いか判らない。	お子さまの体重や成長に合わせて、お使いになる向きを決定してください。参照 P9「お子さまの条件」

〈車への取り付けで困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
シートベルトの“ねじれ”が取れない。	シートベルトのバックルにタングを“ねじって”挿入していないか確認してください。 参照 P54「取り付けかた」
	チャイルドシートを取り外し、車の取扱説明書に従って“ねじれ”を取り除いてください。 参照 P75「車からの取り外しかた」
シートベルトの“ゆるみ”や“たるみ”が取れない。	取扱説明書に従い、ベースを座席の背もたれに押しつけ、肩シートベルトを手前に強く引き、“ゆるみ”や“たるみ”をなくしてください。参照 P56「取り付けかた」
横向きベッド使用時、ドアに当たる。	車によってはドアやタイヤハウスなどに干渉する事がございますが、ご使用頂いても問題ありません。ドアの開閉時、ドアが確実にロックされた事をご確認ください。また取り付ける位置によってはドア干渉が回避される場合があります。バックルを踏みつけない程度にバックル側へ寄せて再度取り付けをお試しください。
チャイルドシートを取扱説明書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	車への取り付け方法を再度ご確認の上、もう一度初めから取り付け直してください。 参照 P51「取り付けかた」
	何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。 弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 参照 P84「アフターサービスについての連絡先」

〈お子さまの乗せかたで困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
肩ハーネスを最も引き出した状態で、お子さまに肩ハーネスを通してもバックルにタングが差し込めない。	肩ハーネスの位置を確認してください。参照 P31「肩ハーネス／らくすやマクラ／アジャスト成長マモールの高さ調節のしかた」
	車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください。
肩ハーネスとお子さまの適切なフィット感が判らない。	調節ベルトを引き、ベルトとお子さまの隙間が指1本入る程度まで締め込んでください。 参照 P62（横）,67（後）,73（前）「お子さまの乗せかた」
肩ハーネスの左右の張りに大きな差がある。	肩ハーネス通し穴の位置が左右同じ高さになっているか確認してください。 参照 P36「肩ハーネス／らくすやマクラ／アジャスト成長マモールの高さ調節のしかた」
チャイルドシートのバックルにタングが入らない。	タングとバックルの隙間に股ハーネスカバーなどを挟み込んでいないか確認してください。 参照 P61（横）,66（後）,72（前）「タングを差し込む」
	バックルにジュース、泥水、ゴミ、食物カスなどが入った為に解除ボタンが動かない場合は使用できません。 弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。 参照 P84「アフターサービスについての連絡先」
調節ベルトが引けない。	背面カバーに引っ掛かっていないか確認してください。
横向きベッド時、お子さまの足が座面の先端からはみ出す場合。	横向きベッドでのご使用はできません。後向きは7kgから10kg未満で、首がすわってからご使用できます。それまではご使用を一旦中止してください。

〈操作時に困ったとき〉

お気づきの点	対 処 方 法
シート部が回転しない。	背もたれ背面の調節ベルトがベースに引掛かっている場合があります。 座面側から調節ベルトを引き、たるみをなくしてください。
	フィットスペーサーを正しく使用してください。参照 P52「フィットスペーサーを取り付ける」
後向きに回転しない。	赤いレバーを引き上げて背もたれを2段目〈後向き専用〉にして回転操作してください。 参照 P23「回転のしかた」
背面カバーが閉まらない。	背面カバーを閉じ、ツメにはめ込み、確実にロックしてください。参照 P38「背面カバーを取り付ける」
リクライニングが起こしにくい。	調節ベルトをゆるめてください。参照 P60「肩ハーネスをゆるめる」

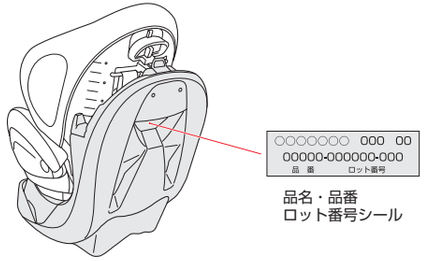
保証について

〈保証期間とアフターサービス〉

・アフターサービスについて
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえ弊社お客様サポートセンター（0120-415-814）または、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

・保証期間中**（お買い上げ日より1年間です。）**に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。**（修理箇所の保証期間は1カ月です。）**
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。
（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。）

・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、チャイルドシート背面ラベルの**品名・品番・ロット番号**を必ずお伝えください。



品名・品番
ロット番号シール

アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120−415−814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）**TEL 0570-004-155**

受付時間：AM10：00〜PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0231 奈良県奈良市都祁吐山町2364-5
アップリカ 奈良サービスセンター ☎(06)4300-4949

お買い上げ時レシート
貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。

MEMO